

# I-O DATA

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

**HDL-ZWEC シリーズ**

すぐ取り出せる場所に保管してください

## **LAN DISK 管理マニュアル**

# もくじ

## 注意事項など

本製品を使用する際の基本的な情報や注意事項です。必ずお読みください。

### はじめに

|                  |   |
|------------------|---|
| 安全のために .....     | 3 |
| 使用上のご注意 .....    | 5 |
| 箱の中には .....      | 7 |
| 動作環境 .....       | 7 |
| オプション品について ..... | 8 |
| 各部の名称 .....      | 9 |

## 初期設定

本製品の設置方法などです。運用にあたって必要最低限の設定になります。

### 初期設定

|                    |    |
|--------------------|----|
| セットアップする .....     | 11 |
| NarSuS 登録をする ..... | 19 |
| 電源を切る場合 .....      | 25 |

## 本製品を運用する際の詳細設定

初期設定の後に必要に応じてご確認ください。

### 詳細設定

|                  |    |
|------------------|----|
| RAID 設定 .....    | 26 |
| マルチディスク .....    | 27 |
| IP アドレス設定 .....  | 30 |
| パスワード変更 .....    | 31 |
| メール設定 .....      | 31 |
| Func ボタン設定 ..... | 32 |

## その他の情報

運用後に必要になってくる情報です。必要に応じてご確認ください。

### 資料

|                   |    |
|-------------------|----|
| カートリッジの交換方法 ..... | 33 |
| リカバリーする .....     | 36 |
| 出荷時設定 .....       | 38 |
| ランプの状態 .....      | 38 |
| ログ、メール一覧 .....    | 39 |
| ZWS Manager ..... | 40 |
| ハードウェア仕様 .....    | 43 |

### アフターサービス

|                  |    |
|------------------|----|
| お問い合わせについて ..... | 44 |
| 修理について .....     | 45 |

# はじめに

## 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

### ● 警告および注意表示



**危険**

この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### ● 絵記号の意味



禁止



指示を守る



**危険**

本製品を修理・改造・分解しない



火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。



**警告**

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない



感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない



本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない



水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかけると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- ・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上には置かないでください。
- ・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
- ・万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう



電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

本製品の小さな部品（ゴム足やネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げる物を置かない



発火の原因になります。

## 警告 ●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない



電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながらない



発火、発熱の恐れがあります。

電源コードや AC アダプターにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない



電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。  
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながらない



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない



テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながらない



発火や感電の原因になります。  
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く



そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない



発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない



電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する



長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）

トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

## 注意

本製品を踏まない



破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける



ハンダ付けの跡やエッジ部分などが当たっている場合があります。誤って触れると、ケガをするおそれがあります。

## 注意 ●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない



足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

# 使用上のご注意

## 定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

### バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

## 最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合があります。

## お手入れについて

- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- NarSuSにご登録いただいている場合は、製品登録情報を削除してください。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## その他のご注意

---

- 動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 増設用ハードディスクをはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットを行います。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品を DHCP サーバーが存在するネットワークに接続しても、正常に IP アドレスを取得できない場合があります。その場合は、本製品の IP アドレスを固定に設定してご利用ください。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。  
ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 動作確認済み以外のソフトウェアは、インストールおよび利用しないでください。  
本製品の安定運用に影響を及ぼす恐れがあります。  
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。  
[http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk\\_soft.htm](http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm)
- 本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
  - ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
  - メールサーバー
  - 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
  - ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（DNS、WINS 等）
  - ネットワーク負荷分散
  - クラスタリング
- 本製品に登録可能なユーザー数は OS の仕様により最大 50 ユーザーとなります。
- 本製品は「休止」「スリープ」には対応しておりません。
- 給電されている LAN ケーブル（Power over Ethernet）は絶対に接続しないでください。故障の原因になります。

## 箱の中には

- ☐ 本製品（1台）
- ☐ 電源コード（1本）
- ☐ LAN ケーブル（2本）
- ☐ ロックキー（2個）
- ☐ サポート DVD-ROM（1 枚）
- ☒ 管理マニュアル（本書：1冊）
- ☐ AC アダプター（1 個：2 ドライブモデルのみ）

### ■ユーザー登録について

シリアル番号 (S/N) は、本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。シリアル番号 (S/N) は、ユーザー登録の際に必要です。

<http://ioportal.iodata.jp/>

▼こちらにシリアル番号 (S/N) をご記入ください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

## 動作環境

本製品を使用できる環境は以下の通りです。お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

### 設定に必要な環境

本製品の設定を行うには、以下のどちらかの環境が必要です。

- 環境① Windows リモートデスクトップ接続可能なパソコン  
(Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista)
- 環境② VGA コネクタを搭載したパソコン用ディスプレイ、USB 接続のキーボード、  
USB 接続のマウス（環境①が無い場合）

### ご注意

- 本製品および別売オプション HDD「HDLZ-OPR シリーズ」以外のご利用はサポート対応外となります。
- 本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac OS など他のパソコンからの設定は行えません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
- 本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへのバックアップも留意してください。

## 対応外付けハードディスク

---

最新情報は弊社ホームページ [http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk\\_hdd.htm](http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_hdd.htm) をご確認ください。

## 対応 UPS

---

最新情報は弊社ホームページ [http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk\\_ups.htm](http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_ups.htm) をご確認ください。

※ USB 3.0 ポートは対応しておりません。USB 2.0 ポートに接続してご利用ください。

## オプション品について

弊社製 HDLZ-OPR シリーズ

※詳細な情報は、以下の弊社ホームページをご確認ください。

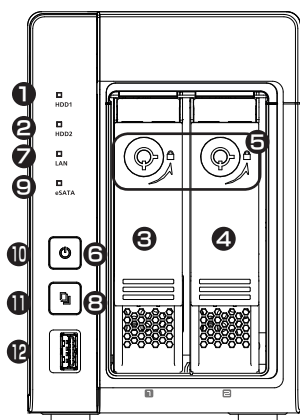
[http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas\\_hdd.htm](http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas_hdd.htm)

### ご注意

- オプション品のカートリッジには、システムはインストールされていません。
- 本製品の容量をあとから増やすことはできません。

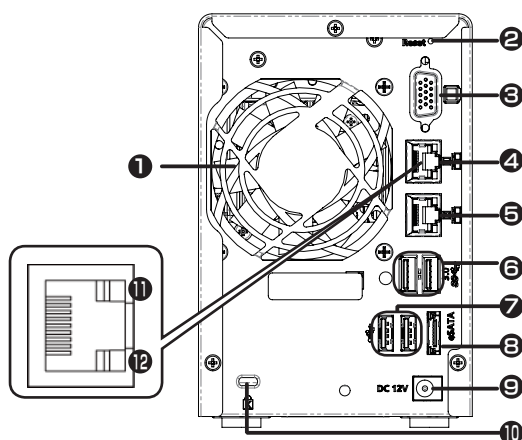
# 各部の名称

## 前面



|                        |                                                                    |                           |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| ①HDD1 ランプ<br>②HDD2 ランプ | 緑点灯                                                                | HDD 正常認識時                 |
|                        | 緑点滅                                                                | HDD アクセス時                 |
|                        | 赤点灯                                                                | HDD エラー時                  |
|                        | 消灯                                                                 | HDD 未接続時                  |
| ③HDD1<br>④HDD2         | HDD カートリッジを接続します。                                                  |                           |
|                        | 脱着レバーは、HDD カートリッジを取り出す際に利用します。                                     |                           |
| ⑤カートリッジ固定ロック           | HDD カートリッジをロック / アンロックします。                                         |                           |
| ⑥STATUS ランプ            | 本製品の状態を示します。                                                       |                           |
|                        | 詳しくは、【ランプの状態】(38 ページ) をご覧ください。                                     |                           |
| ⑦LAN ランプ               | 橙点滅                                                                | LAN1 / LAN2 アクセス時         |
|                        | 消灯                                                                 | LAN1 / LAN2 未接続時          |
| ⑧USB ランプ               | 青点灯                                                                | USB デバイス認識時               |
|                        | 消灯                                                                 | USB デバイス未接続時              |
| ⑨eSATA ランプ             | 橙点滅                                                                | eSATA1 / eSATA2 HDD アクセス時 |
|                        | 消灯                                                                 | eSATA デバイス未接続時 / 非アクセス時   |
| ⑩電源ボタン                 | 短押し (1 秒程度) → 本製品の電源を ON/OFF します。                                  |                           |
|                        | ※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。<br>3 秒以上電源ボタンを押し続けしないでください。 |                           |
| ⑪Func. ボタン             | 3 秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行することができます。                                |                           |
|                        | また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時、2 秒以内押すとブザーを停止します。                         |                           |
| ⑫USB ポート 1             | 増設用 USB ポートです。                                                     |                           |

## 背面



|   |                 |                             |
|---|-----------------|-----------------------------|
| ① | ファン             | 冷却用ファンです。ふさがないでください。        |
| ② | Reset スイッチ      | 使用しません。                     |
| ③ | VGA コネクター       | ディスプレイを接続できます。              |
| ④ | LAN ポート 1       | 添付の LAN ケーブルを接続します。         |
| ⑤ | LAN ポート 2       | 添付の LAN ケーブルを接続します。         |
| ⑥ | USB 3.0 ポート 1、2 | 増設用ハードディスクなどを接続します。         |
| ⑦ | USB ポート 2、3     | 増設用ハードディスクなどを接続します。         |
| ⑧ | eSATA ポート       | 増設用ハードディスクなどを接続します。         |
| ⑨ | DC-IN           | 添付の AC アダプターを接続します。         |
| ⑩ | セキュリティスロット      | 盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。 |
| ⑪ | ACT/LINK ランプ    | 橙点灯 LINK 中                  |
|   |                 | 橙点滅 データを送受信中                |
|   |                 | 消灯 未接続                      |
| ⑫ | 1000/100/10 ランプ | 緑点灯 1000BASE-T で接続中         |
|   |                 | 赤点灯 100BASE-TX で接続中         |
|   |                 | 消灯 未接続、または 10BASE-T で接続中    |

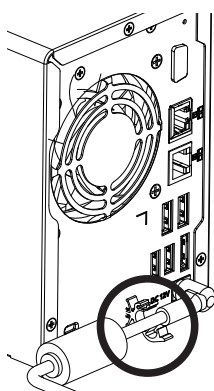
# 初期設定

はじめに

## セットアップする

### 電源コードを取り付ける

- 1 [DC-IN] に添付の AC アダプターを接続し、電源コードを AC アダプターに接続します。
- 2 図のように電源コードに付属の抜け防止クリップを本製品背面に装着します。



### 設定方法を選ぶ

本製品の設定は、Windows のリモートデスクトップを使用します。また、DHCP サーバーの有無により手順が異なります。ご利用の環境をご確認の上、該当する手順をご覧ください。

Windows Vista 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合

→ **【設定方法①】** (12 ページ)

Windows Vista 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合

→ **【設定方法②】** (14 ページ)

ネットワークを利用せずにセットアップを行う場合

→ **【設定方法③】** (17 ページ)

初期設定

詳細設定

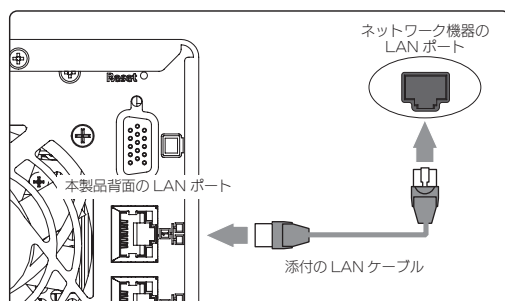
資料

## 設定方法①

Windows Vista 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合の設定手順です。

### ステップ1 ネットワークにつなぐ

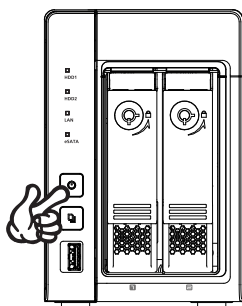
- 1 本製品の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をネットワーク機器に接続します。



### ステップ2 電源を入れる

- 1 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

- 2 本製品前面の電源ボタンを押します。



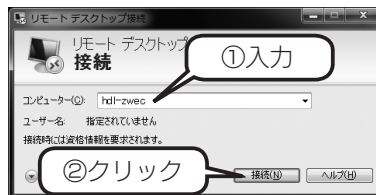
### ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(25 ページ) をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

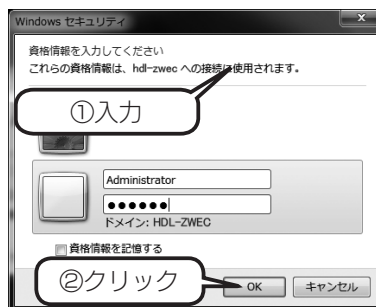
## ステップ3 本製品にアクセスする

**1** [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[リモートデスクトップ接続]をクリックします。

**2** [コンピューター]で本製品のコンピューター名(出荷時「hdl-zwec」)を入力し、[接続]ボタンをクリックします。  
※ネットワーク上で発見できない場合は、【設定方法③】(17 ページ)をお試しください。

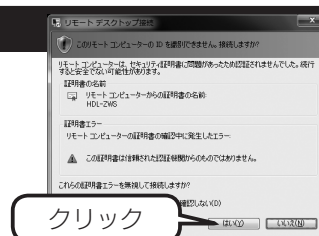


**3** ログオン画面が開きますので、[別のアカウントを使用]を選択し、以下の[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。  
ユーザー名: Administrator  
パスワード: admin  
※出荷時パスワードは「admin」です。  
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。  
※右画面とは異なる場合がありますが、手順は同じです。



### ご注意

●右のような画面が表示された場合は[はい]ボタンをクリックしてください。



以上で、セットアップは完了です。

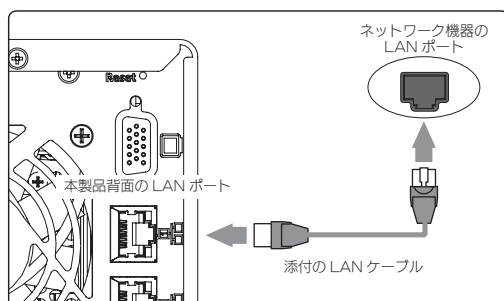
次に【NarSuS 登録をする】(19 ページ)へお進みください。

## 設定方法②

Windows Vista 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合の設定手順です。

### ステップ1 ネットワークにつなぐ

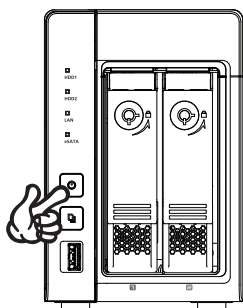
- 1 本製品の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をネットワーク機器に接続します。



### ステップ2 電源を入れる

- 1 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

- 2 本製品前面の電源ボタンを押します。



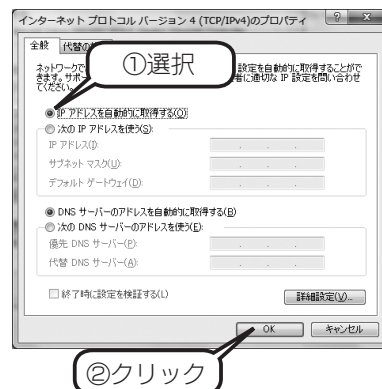
### ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(25 ページ)をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

## ステップ3 設定用パソコンの IP アドレスを確認、設定する

**1** 現在の設定用パソコンの IP アドレスを確認、メモします。  
後で、現在の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

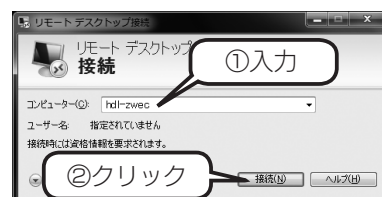
**2** 設定用パソコンの IP アドレスを一時的に [IP アドレスを自動的に取得する] に設定し、[OK] ボタンをクリックします。



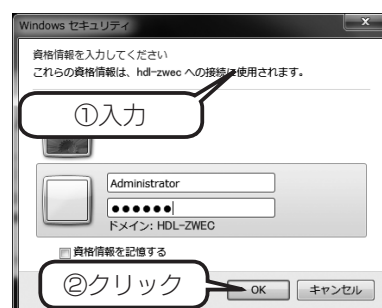
## ステップ4 本製品の IP アドレスを設定する

**1** [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[リモートデスクトップ接続] をクリックします。

**2** [コンピューター] で本製品のコンピューター名 (出荷時[hdl-zwec]) を入力し、[接続] ボタンをクリックします。  
※ネットワーク上で発見できない場合は、【設定方法③】(17 ページ) をお試しください。

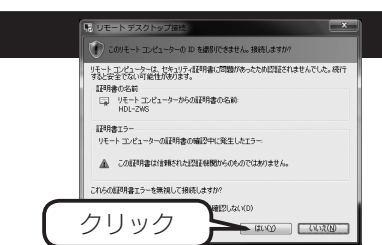


**3** ログオン画面が開きますので、[別のアカウントを使用] を選択し、以下の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。  
ユーザー名: Administrator  
パスワード: admin  
※出荷時パスワードは「admin」です。  
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。  
※右画面とは異なる場合がありますが、手順は同じです。



## ご注意

●右のような画面が表示された場合は [はい] ボタンをクリックしてください。



|          |                                                                     |
|----------|---------------------------------------------------------------------|
| <b>4</b> | リモートデスクトップから、本製品の IP アドレスを【ステップ3】でメモした IP アドレスを参考にネットワークに適した値に変更します |
|----------|---------------------------------------------------------------------|

|          |                                                |
|----------|------------------------------------------------|
| <b>5</b> | IP アドレス変更後は、通信ができなくなるため、いったんリモートデスクトップ画面を閉じます。 |
|----------|------------------------------------------------|

---

## ステップ5 設定用パソコンの IP アドレスを元に戻す

---

|          |                      |
|----------|----------------------|
| <b>1</b> | 本製品から設定用パソコンを取り外します。 |
|----------|----------------------|

|          |                                                                                              |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>2</b> | 設定用パソコンの IP アドレスを元に戻します。<br>(設定用パソコンをネットワークに接続する場合は、変更した IP アドレスを元に戻す必要があります。メモした値に戻してください。) |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|

以上で、セットアップは完了です。

次に【NarSuS 登録をする】（19 ページ）へお進みください。

## 設定方法③

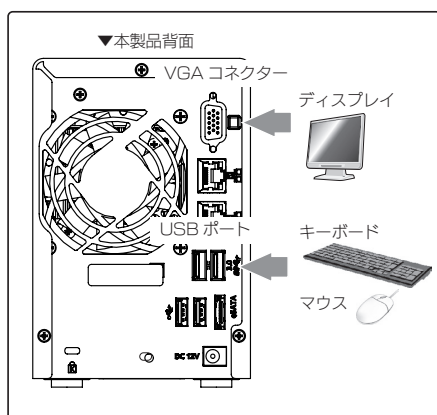
ネットワークを利用せずにセットアップを行う場合の設定方法です。

### ステップ1 本製品にディスプレイ、キーボード、マウスをつなぐ

1 本製品の VGA コネクターにパソコン用のディスプレイを接続します。

2 本製品の USB ポートに USB 接続のキーボードを接続します。

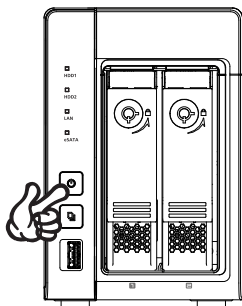
3 本製品の USB ポートに USB 接続のマウスを接続します。



### ステップ2 電源を入れる

1 本製品の電源コードをコンセントに接続します。

2 本製品前面の電源ボタンを押します。



#### ご注意

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消滅する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(25 ページ)をご覧ください。

## ステップ3 ログインする

- 1 本製品が起動したら、キーボードの  
[Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押します。

ログインするには Ctrl + Alt + Del を押してください。

- 2 [パスワード]に「admin」と入力し、[→]ボタンを  
クリックします。  
出荷時パスワードは「admin」です。  
Administrator のパスワードを変更された場合は、  
変更後のパスワードを入力してください。



以上で、セットアップは完了です。

次に【NarSuS 登録をする】（19 ページ）へお進みください。

# NarSuS 登録をする

## NarSuS (ナーサス) とは？

NarSuS (ナーサス) はインターネットを介したクラウドサービスで、対応 NAS (以降 LAN DISK) の稼働状態を把握し、安定運用を支援します。

### ● NarSuS の仕組み

LAN DISK からクラウド上の NarSuS データセンターに、稼働状態が自動送信されます。NarSuS はそれを受けて各種サービスを提供いたします。

### ● NarSuS の各種サービス

#### ・イベントログの照会

RAID 構築状態やバックアップ設定などのシステム情報、ハードウェアの異常やスケジュール動作の完了などのイベント情報を表示します。

#### ・動作状況をグラフ表示

LAN DISK の温度、FAN の回転数、利用容量、CPU 負荷をグラフで表示します。

#### ・トラブル時の対処方法を表示

万が一の障害時には、管理画面に対処法が表示されます。表示に従って操作を進めれば、RAID 再構築や HDD 交換など、どなたでも迷わず対応を進めることが可能です。

### ● セキュリティへの配慮

#### ・通信は LAN DISK から NarSuS データセンターへの

一方通行であり、NarSuS データセンターから LAN DISK に接続いたしません。

LAN DISK から送信するデータは LAN DISK の稼働情報であり、LAN DISK 内のユーザーデータは一切送信いたしません。

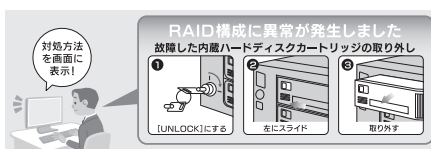
#### ・NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されております。

#### ・データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮を行っています。

### ● 本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。

### ● Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [ インターネットオプション ] → [ セキュリティ ] から [ 信頼済みサイト ] に登録しておいてください。

### ● NarSuS 登録には、本製品のシリアル No、MAC アドレスが必要になる場合があります。本製品背面のシールに記載されていますので、事前にご確認ください。



1

本製品へのログインに成功したら、右のような画面が表示されます。

状況に応じて、ボタンをクリックします。

- NarSuS に LAN DISK を登録したことがない  
[NarSuS にはじめて登録 (無料)] をクリック
- すでに NarSuS に他の LAN DISK を登録している  
[NarSuS に製品を追加登録] をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

NarSuS登録

24時間365日NASを見守る「NarSuS (ナーサス)」にご登録ください。(無料)

<サービス内容>

1. 土日もつながる専用電話サポート

2. 修理代金20%引き

3. トラブル発生時にメールでお知らせ

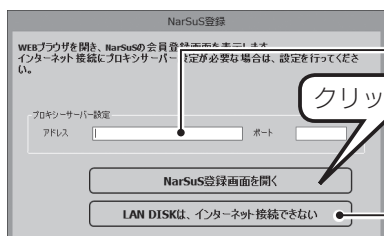
4. トラブル復旧方法をイラスト解説

詳しくはこちら

NarSuSに始めて登録 (無料)

NarSuSに製品を追加登録

**2** [NarSuS 登録画面を開く] をクリックします。



## プロキシサーバー設定

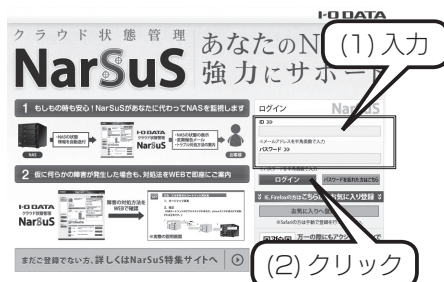
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

## インターネット接続できない場合

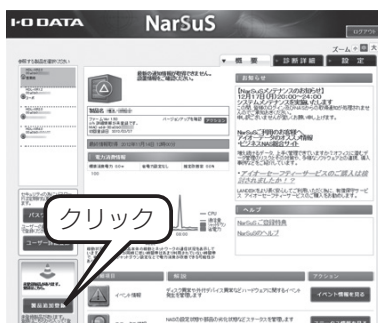
【●インターネットに接続できない場合】(23 ページ)をご覧ください。

## NarSuS に製品を追加登録する場合

①右の画面が表示されます。  
NarSuS にログインしてください。



② [製品追加登録] をクリックします。



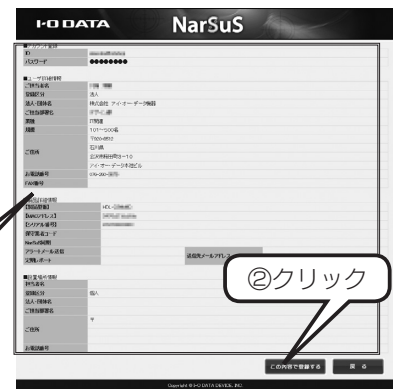
③次の手順にお進みください。

**3** 各項目を入力し、[登録 / 更新] をクリックします。  
※画面例は新規登録の場合です。

- 4** 内容を確認し、[この内容で登録する] をクリックします。  
※画面例は、新規登録の場合です。

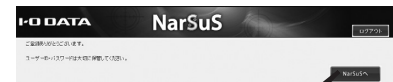
①確認

②クリック



- 5** [NarSuSへ] をクリックします。

クリック



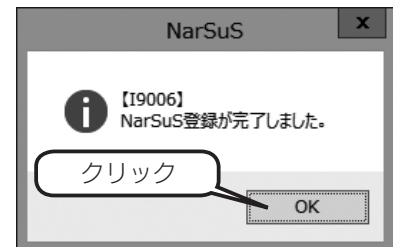
- 6** Web ブラウザーを閉じます。

Web ブラウザを閉じる



- 7** [OK] をクリックします。  
別途、登録通知がメールアドレスに送付されますので、保管しておいてください。

クリック



以上で NarSuS 登録は完了です。

## ご注意

- 以下を確認してください。
  - ・インターネット接続できること
  - ・LAN ケーブルが抜けていないこと
  - ・プロキシサーバーの設定が必要な場合、正しく設定されていること
  - ・本製品の TCP/IP 設定が手動の場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーのアドレスが正しいこと
  - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアした上で、再度試すこと

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

## NarSuS ヘログインするには

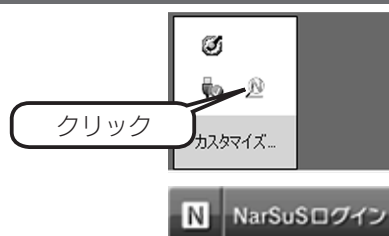
方法 1 以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

方法 2 ①タスクトレイのアイコンをクリックします。

② NarSuS 設定画面右上の

[NarSuS ログイン] ボタンをクリックします。



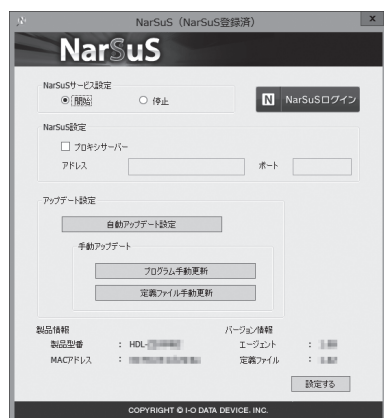
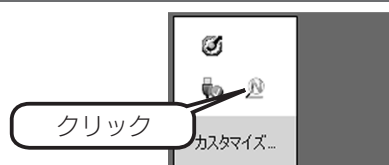
## NarSuS の利用方法がわからない場合は

NarSuS ヘログイン後、[NarSuS のヘルプ] をクリックしてください。



## NarSuS 設定画面

タスクトレイのアイコンをクリックすることで、NarSuS 設定画面が表示されます。



※アップデート時に再起動する場合があります。ご注意ください。

|           |                                                                                                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NarSuS 設定 | プロキシの設定が必要な場合、[プロキシサーバー] にチェックをつき、プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入力します。<br>※設定内容については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。                                       |
| アップデート設定  | 自動アップデート設定<br>本 NarSuS アプリや、NarSuS のイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、自動アップデートについて設定します。<br>自動アップデートする場合は、実行する曜日、時刻を設定できます。<br>※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。 |
|           | プログラム手動更新<br>クリックすると、本 NarSuS アプリを更新します。                                                                                                       |
|           | 定義ファイル手動更新<br>クリックすると、NarSuS のイベント通知の定義ファイルを更新します。                                                                                             |

### 利用コードの確認

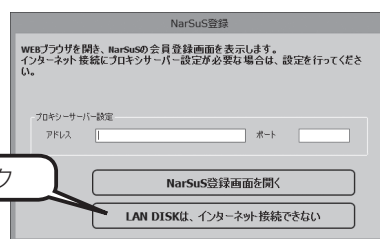
設定によっては、利用コードを求められます。

NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、[製品詳細登録] をクリックして、利用コードを確認してください。

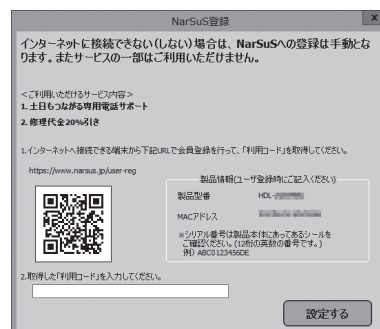
## ●インターネットに接続できない場合

【NarSuS 登録をする】(19 ページ) の手順2の画面まで進み、[LAN DISK は、インターネット接続できない] をクリックした上でお読みください。

クリック



1 右の画面が表示されたことを確認します。

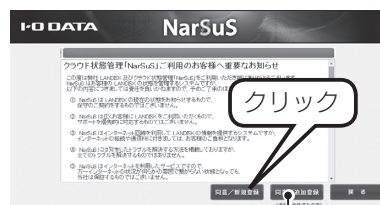


2 インターネット接続できるパソコンやスマートフォンなどで、登録ページを開きます。  
<https://www.narsus.jp/user-reg>

## QR コードを利用する

手順1の画面に登録ページアドレスのQRコードが表示されています。

3 [同意 / 新規登録] をクリックします。



## NarSuS に追加で登録をする場合

- ① [同意 / 追加登録] ボタンをクリックします。
- ② NarSuS ログイン画面が表示されますので、すでに登録済みの[ID]、[パスワード] を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



はじめに

初期設定

詳細設定

資料

- 4** 各項目を入力し、[登録 / 更新] をクリックします。  
※画面例は新規登録の場合です。

- 5** 内容を確認し、[この内容で登録する] をクリックします。  
※画面例は、新規登録の場合です。

- 6** 利用コードをメモします。  
別途、登録通知がメールアドレスに送付されますので、保管しておいてください。

- 7** 本製品の画面に戻ります。  
メモした利用コードを入力し、[設定する] をクリックします。

以上で NarSuS 登録は完了です。

# 電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、以下のいずれかの手順にしたがってください。

## ご注意

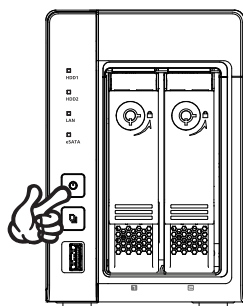
- 外付けハードディスクやプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付けハードディスクやプリンターの電源を切ってください。
- 長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

## 本製品の電源ボタンでシャットダウンする場合

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。  
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

## ご注意

- 電源ボタンを長押し（3 秒以上）しないようご注意ください。  
3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。



## ご注意

- 本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。その場合は、USB キーボードでロックの解除を行ってから電源ボタンを押してください。

## Windows のリモートデスクトップにてシャットダウンする場合

[ Alt ] + [ F4 ] を押し、表示された画面で [ シャットダウン ] を選択して、[ OK ] ボタンをクリックします。  
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

# 詳細設定

## 参考

●本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]をご覧ください。

## RAID 設定

### 本製品で設定できる RAID モード

|                |                                                                      |
|----------------|----------------------------------------------------------------------|
| RAID 1 (出荷時設定) | すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。        |
| RAID 0         | すべてのハードディスクを 1 つのボリュームとして認識します。<br>データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。 |

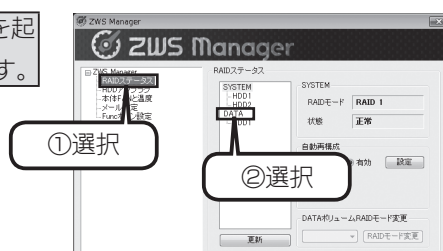
### RAID モードを変更する

## ご注意

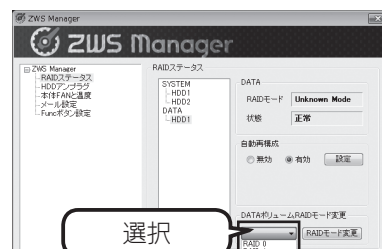
- 作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
- 本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

「ZWS Manager」で設定します。「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】(40 ページ)をご覧ください。

- 1 タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動し、[RAID ステータス]→[DATA] を選択します。

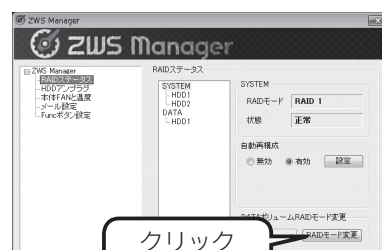


- 2 変更する RAID モードを選択します。



- 3 [RAID モード変更] をクリックします。  
選択した [RAID モード] への変更を開始します。([状態] が再構築中になります。)  
※ HDL-Z2WE4C:RAID 1 へ構築した場合、約 8 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。



# マルチディスク

マルチディスクは、ハードディスクを個々で認識し、複数のハードディスクとして使用できます。

## ご注意

- RAID モードからマルチディスクモード、または、マルチディスクモードから RAID モードに変更する際には、以下にご注意ください。
  - ・すべての保存されていたデータ、設定情報が消去されます。  
必要なデータや設定情報は、必ずバックアップしてから切り替えてください。
  - ・Windows システムのみ復元します。他のアプリケーション類は復元しません。

## ステップ 1 準備する

- |   |                                                                                                                                                                |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 次の機材をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ディスプレイ</li><li>・USB キーボード</li><li>・USB 接続の DVD ドライブ (USB 2.0 対応のもの)</li><li>・本製品添付のサポート DVD-ROM</li></ul> |
| 2 | 本製品の VGA コネクターにディスプレイを接続します。                                                                                                                                   |
| 3 | 本製品の USB 2.0 ポートに USB キーボードを接続します。                                                                                                                             |
| 4 | 本製品の USB 2.0 ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。<br>上記以外の、USB ハードディスクおよび eSATA ハードディスクは接続しないでください。                                                                    |

以下の【ステップ 2】へお進みください。

## ステップ 2 マルチディスクに設定する

- |   |                                         |
|---|-----------------------------------------|
| 1 | DVD ドライブにサポート DVD-ROM を挿入し、本製品の電源を入れます。 |
|---|-----------------------------------------|

## 参考

- リカバリープログラムが起動しない場合、BIOS 設定の変更が必要な場合があります。  
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
  - ① 本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動します。
  - ② カーソルキーで [ブート] を選択します。
  - ③ [USB CD:] にカーソルを合わせ、[+] キーで優先順位を最も高く設定します。以上で BIOS 設定は変更されました。ステップ 2 手順 1 より再度実行してください。

- 2** リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。  
キーボードの 2 を入力し [Enter] キーを押します。  
(「2 - マルチディスクモードでリカバリー」を選択します。)  
※その他の選択については、【リカバリーする】(36 ページ) をご覧ください。
- 3** 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか? (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押します。  
→リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度が必要です。
- 4** 「リカバリーが正常に完了しました。サポート DVD を抜いてください。  
何かキーを押すと再起動します。」  
と表示されたら、システムリカバリーは完了です。サポート DVD-ROM を本製品から取り外し、何かキーを押します。  
→本製品が再起動します。  
再起動完了後、本製品はマルチディスクモードとなっています。

以下の【ステップ 3】へお進みください。

## ステップ3 ハードディスクを初期化する

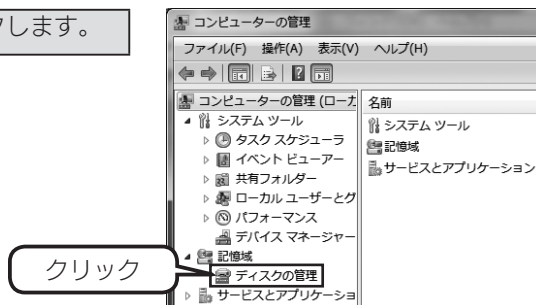
マルチディスクモードでの起動直後は、以下のようなディスク構成となっています。

|      |                        |            |
|------|------------------------|------------|
| HDD1 | 起動用パーティション、システムパーティション | データパーティション |
| HDD2 | データパーティション             |            |

- 1** [スタート] をクリックし、[コンピューター] を  
右クリックして、[管理] をクリックします。

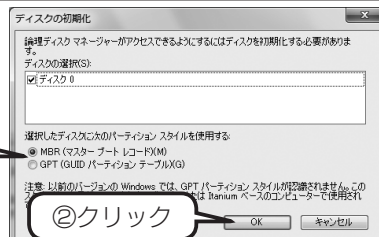


- 2** [記憶域] → [ディスクの管理] をクリックします。



- 3 パーティションスタイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

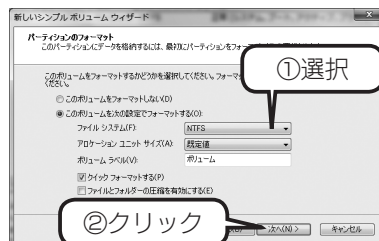
①選択



- 4 ディスクのデータパーティションを右クリックして、[新しいシンプルボリューム] をクリックします。(データパーティションは「未割り当て」と表示されています。) シンプルボリュームウィザードが表示されますので、画面の指示にしたがって進めます。



- 5 フォーマット形式に [NTFS] を選択し、[次へ] をクリックします。  
あとは画面の指示にしたがってください。



すべてのドライブの未割り当て領域を NTFS フォーマットすると、それぞれのドライブを独立して管理できるようになります。

以上で設定は終了です。

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

# IP アドレス設定

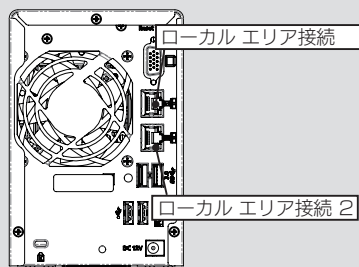
1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、  
[ネットワークとインターネット]を開きます。

2 [ネットワークと共有センター]をクリックします。

3 [アダプターの設定の変更]をクリックします。

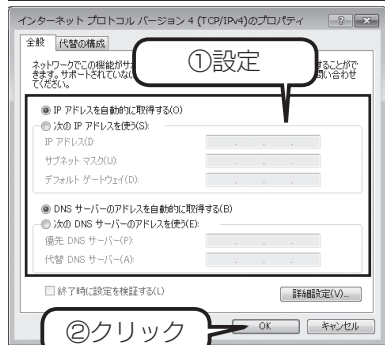
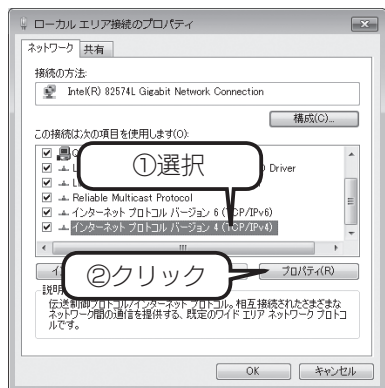
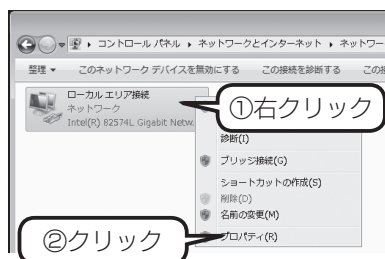
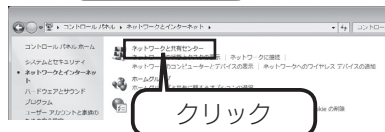
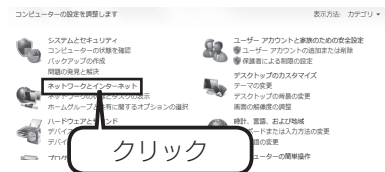
4 設定する LAN アダプターを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

※ LAN ポートと [ネットワーク接続] で表示されるアダプターは以下の図のようになります。



5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

6 本製品を接続するネットワーク環境に適した IP アドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



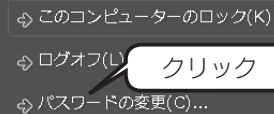
以上で IP アドレスの設定は完了です。

# パスワード変更

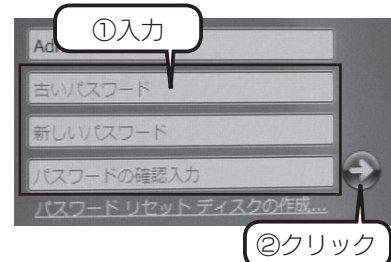
管理者パスワードは、セキュリティのため出荷時設定から変更することをおすすめします。

- リモートデスクトップ接続の場合  
Administratorでログオン後、[スタート]→[Windows セキュリティ]をクリックします。  
●【設定方法③】（17 ページ）の場合  
Administrator でログオン後、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押します。

- パスワードの変更をクリックします。



- 以下のように入力し、[→]をクリックします。  
古いパスワード：admin  
新しいパスワード：任意のパスワード  
新しいパスワードの確認入力：任意のパスワード  
出荷時パスワードは「admin」です。  
Administrator のパスワードを変更された場合は、変更後のパスワードを入力してください。



以上でパスワードの変更は完了です。

# メール設定

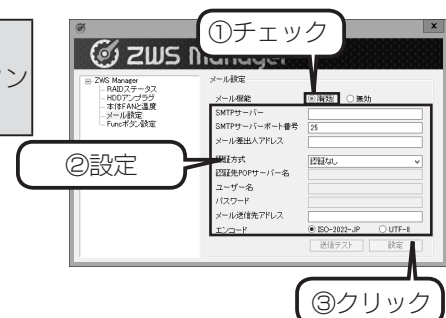
「ZWS Manager」で設定します。

「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】（40 ページ）をご覧ください。

- タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動し、[メール設定] を選択します。



- [メール設定] で [有効] にチェックをつけます。  
各項目を必要に応じて入力、選択し、[設定] ボタンをクリックします。



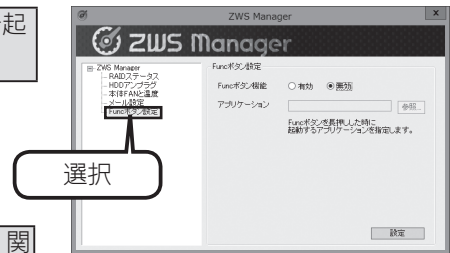
以上でメール設定は完了です。

# Func ボタン設定

「ZWS Manager」で設定します。

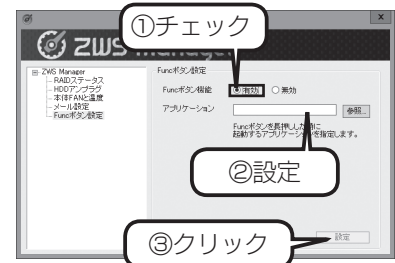
「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】（40 ページ）をご覧ください。

- 1 タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動し、[Func ボタン設定] を選択します。



- 2 [Func ボタン設定] で [有効] にチェックをつけ、関連付けるアプリケーションのパスを入力し、[設定] ボタンをクリックします。

※ Func. ボタンに登録できるアプリケーションは、管理者権限を必要としないコマンドラインプログラムのみとなります。また、実行時に管理者権限を必要とする処理（フォルダーへのアクセス等）を行うプログラムも正常に動作しません。



以上で Func ボタンの設定は完了です。

## カートリッジの交換方法

本製品の電源が入っている状態で、HDD アンプラグを行うことで、障害が発生したカートリッジの交換ができます。障害が発生したハードディスクは、[HDD] ランプが赤点灯します。[HDD] ランプをご確認の上、以下の説明通りに行ってください。

本製品に対する指定容量のカートリッジについては、【オプション品について】（8 ページ）をご確認ください。

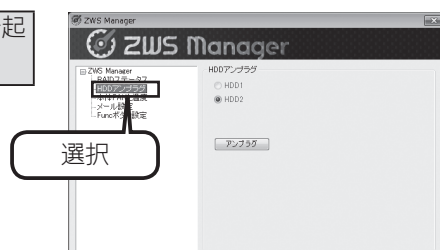
### ご注意

- RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。そのため、万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- カートリッジ（ハードディスク）は、障害発生時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊しすべてのデータを失い、修復不能な状態となる危険性があります。（各 RAID モードの仕組みについては、【RAID 設定】（26 ページ）をご覧ください。）

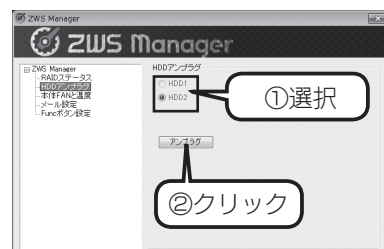
### 【ステップ1】 HDD アンプラグを行う

「ZWS Manager」で「HDD アンプラグ」を行います。

- 1 タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動し、[HDD アンプラグ] を選択します。



- 2 [HDD] ランプが赤点灯している障害が発生したハードディスク番号を選択し、[アンプラグ] ボタンをクリックします。  
※画面は、HDD2 が障害発生した場合の例です。



### ご注意

- 一度に取り外しできるハードディスクの数は 1 台のみです。  
2 台以上取り外すと RAID が崩壊し、保存されているデータを失うことがあります。
- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグすることはできません。タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。（【ステップ2】 カートリッジを外す）（35 ページ）参照）

## ご注意

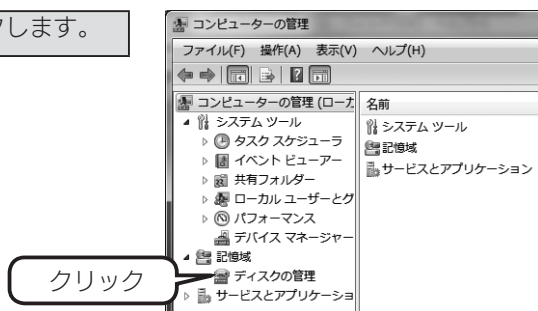
- 右のような画面が表示された場合、[アンプラグ]処理ができていません。  
本製品の電源を切り、【[ステップ 2] カートリッジを外す】（35 ページ）  
にお進みください。



- 3** スタートボタンをクリックして、[コンピューター]を右クリックし、[管理] をクリックします。



- 4** [記憶域] → [ディスクの管理] をクリックします。



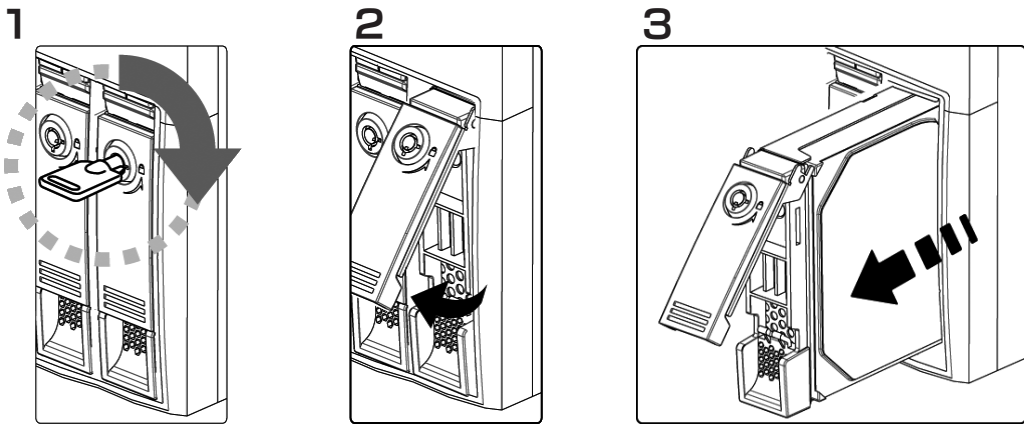
- 5** 手順 2 で[アンプラグ]処理を行った障害の発生したハードディスクが、オフラインになっていることを確認します。



次に、カートリッジを外します。次ページをご覧ください。

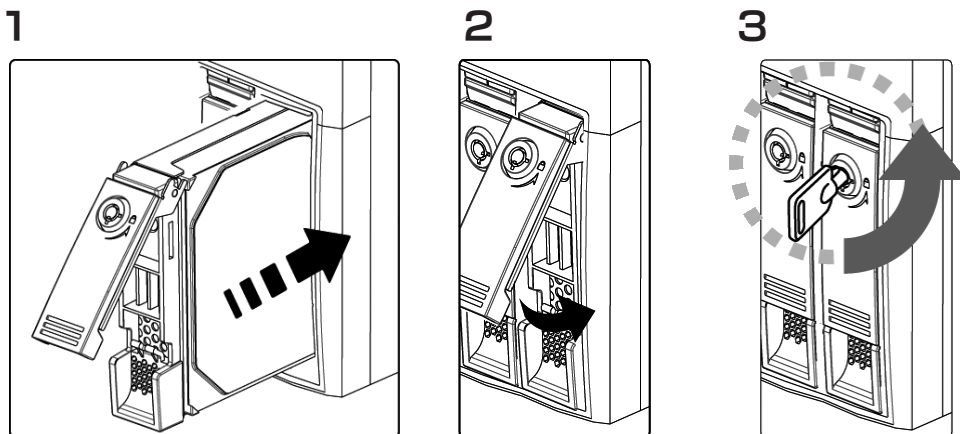
## [ステップ2] カートリッジを外す

- 1 図1のように、添付のロックキーを「カートリッジ固定ロック」に合わせ横向きに挿し、時計回りにまわして、「[UNLOCK]」にします。(ロックキーは、縦向きになります。)
- 2 取り外すカートリッジの着脱レバーを上にあげます。
- 3 カートリッジを手前に引いて、取り出します。



## [ステップ3] カートリッジを取り付ける

- 1 カートリッジをスロットの奥まで挿入します。
- 2 着脱レバーを「カチッ」と音が出るまで下におろし、本製品に取り付けます。
- 3 図1のように、添付のロックキーを「カートリッジ固定ロック」に合わせ縦向きに挿し、反時計回りにまわして、「[LOCK]」にします。(ロックキーは、横向きになります。)



以上で交換は終了です。取り付け完了後、[ZWS Manager]の[自動再構成]が[有効]に設定されている場合は、自動的にRAIDの再構築を開始します。

# リカバリーする

## ご注意

- システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。

## ステップ1 準備する

- |   |                                                                                              |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 次の機材をご用意ください。<br>・ディスプレイ ・USB キーボード ・USB 接続の DVD ドライブ (USB 2.0 対応のもの)<br>・本製品添付のサポート DVD-ROM |
| 2 | 本製品の VGA コネクターにディスプレイを接続します。                                                                 |
| 3 | 本製品の USB 2.0 ポートに USB キーボードを接続します。                                                           |
| 4 | 本製品の USB 2.0 ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。<br>USB ハードディスクおよび eSATA ハードディスクは接続しないでください。        |

## ステップ2 リカバリープログラムを起動する

- |   |                                                                                                                     |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | DVD ドライブにサポート DVD-ROM を挿入し、本製品の電源を入れます。                                                                             |
| 2 | 「press any Key to boot from CD or DVD」と表示された場合は、USB キーボードのキーを押します。<br>サポート DVD-ROM からリカバリープログラムが起動しますのでしばらくお待ちください。 |

## 参考

- リカバリープログラムが起動しない場合、BIOS 設定の変更が必要な場合があります。  
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。  
①本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動します。  
②カーソルキーで「ブート」を選択します。  
③[USB CD:] にカーソルを合わせ、[+] キーで優先順位を最も高く設定します。  
以上で BIOS 設定は変更されました。ステップ2 手順1 より再度実行してください。

- |   |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 | <p>リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。<br/>         キーボードの 1 を入力し [Enter] キーを押します。<br/>         (「1- 上記を承諾してリカバリーを実行する」を選択します。)</p>                                                                                                                                        |
| 4 | <p>「本当にリカバリーを実行してよろしいですか? (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押します。<br/>         →リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度が必要です。</p>                                                                                                                                   |
| 5 | <p>「リカバリーが正常に完了しました。サポート DVD を抜いてください。<br/>         何かキーを押すと再起動します。」<br/>         と表示されたら、システムリカバリーは完了です。サポート DVD-ROM を本製品から取り<br/>         外し、何かキーを押します。<br/>         →本製品が再起動します。<br/>         この後、システム領域にリビルドが行われます。<br/>         (リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。)</p> |

以上でリカバリーは終了です。

## ご注意

- Windows の初期作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動することがあります。

# 出荷時設定

|              |           |
|--------------|-----------|
| コンピューター名     | HDL-ZWEC  |
| ワークグループ名     | WORKGROUP |
| IP アドレス      | 自動取得      |
| DNS サーバーアドレス | 自動取得      |
| RAID 状態      | RAID 1    |

# ランプの状態

| カテゴリ                | STATUS | HDD               | ブザー <sup>※1</sup>    | 動作内容              | 対処                                                                                                                                                          |
|---------------------|--------|-------------------|----------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通常稼働時 <sup>※2</sup> | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | 現在の RAID モードの表示   | 「Unknown Mode」と表示された場合は、ボリュームが複数認識されています。ボリュームを2つに戻して RAID モードが表示されるか確認してください。                                                                              |
|                     | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | 現在の IP アドレスの表示    | —                                                                                                                                                           |
|                     | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | ドライブごとの HDD 容量の表示 | —                                                                                                                                                           |
|                     | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | 設定したホスト名を表示       | —                                                                                                                                                           |
|                     | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | 現在の時刻を表示          | —                                                                                                                                                           |
|                     | 緑点灯    | 緑点灯               | なし                   | ユーザー設定を表示         | —                                                                                                                                                           |
| RAID 再構築            | 緑点滅    | 緑点滅               | ピロツ                  | RAID 再構築中のとき      | RAID を再構築中です。再構築が完了するまで HDD の抜き差しを行わないでください。                                                                                                                |
| エラー                 | 赤点滅    | 該当<br>HDD<br>赤点灯  | ピッピッ、<br>ピッピッ<br>... | デグレード発生時          | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。                                                                                              |
|                     | 赤点滅    | 全 HDD<br>赤点灯      | ビーポー、<br>ビーポー<br>... | RAID 崩壊時          | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。 |
|                     | 緑点灯    | 認識した HDD<br>のみ緑点灯 | ビツ、<br>ビツ、<br>ビツ ... | 起動 HDD がない時       | 起動 HDD が接続されていません。HDD が正常に接続されていることを確認してください。                                                                                                               |
|                     | 赤点灯    | 緑点灯               | なし                   | 温度異常の時            | 設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼働していることを確認してください。                                                 |

※ 1 RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、[Func.] ボタンを押す、または、「ZWS Manager」上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

※ 2 通常起動中は「SELECT」ボタンで表示内容を変更でき、「ENTER」ボタンでバックライトを ON/OFF できます。

# ログ メール一覧

| ログ・メール内容                                                                                                        | メールタイトル  | 概要                                               | 対処                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。<br>システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。<br>(x は、1 ～ 2) | ディスクエラー  | 内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。<br>(x は、1 ～ 2)       | 至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。<br>システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。<br>内蔵スロット x のディスクを交換してください。<br>ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1 ～ 2) |
| システムボリューム上にエラーが検出されました。                                                                                         | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「失敗」となった。<br>システムボリュームの情報が「危険」となった。 | 至急システムボリュームのバックアップを取ってください。<br>システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。<br>システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。                                                                            |
| データボリューム上にエラーが検出されました。                                                                                          | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「失敗」となった。<br>システムボリュームの情報が「危険」となった。 | 至急データボリュームのバックアップを取ってください。<br>データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。<br>データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。                                                                      |
| システムボリュームの冗長性が失われています。                                                                                          | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。                        | 至急システムボリュームのバックアップを取ってください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。                                                                                                                                                                           |
| データボリュームの冗長性が失われています。                                                                                           | ボリュームエラー | データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。                         | 至急データボリュームのバックアップを取ってください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。                                                                                                                                                                            |
| システムボリュームの再構築が開始されました。                                                                                          | ボリューム情報  | システムボリュームの状態が「再構築中」となった                          | システムボリュームの状況を確認してください。                                                                                                                                                                                                                           |
| データボリュームの再構築が開始されました。                                                                                           | ボリューム情報  | データボリュームの状態が「再構築中」となった。                          | データボリュームの状況を確認してください。                                                                                                                                                                                                                            |
| システムボリュームの再構築が完了しました。                                                                                           | ボリューム情報  | システムボリュームの状態が(「正常」以外の状態から)「正常」となった。              | システムボリュームの状況を確認してください。                                                                                                                                                                                                                           |
| データボリュームの再構築が完了しました。                                                                                            | ボリューム情報  | データボリュームの状態が(「正常」以外の状態から)「正常」となった。               | データボリュームの状況を確認してください。                                                                                                                                                                                                                            |
| ZWS RAID Manager で管理できない状態です。                                                                                   | (メールなし)  | 内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。                        | 内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。                                                                                                                                                                                                 |
| 本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。                                                                               | 温度異常     | システム温度が仕様範囲を超えた。                                 | 設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼働していることを確認してください。                                                                                                                                       |
| Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。(x x x は登録したコマンド)                                                          | (メールなし)  | Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。                    | Func. ボタン機能が有効の場合は、Func. ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。                                                                                                                                                              |

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

# ZWS Manager

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定を行う管理ソフトです。

ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

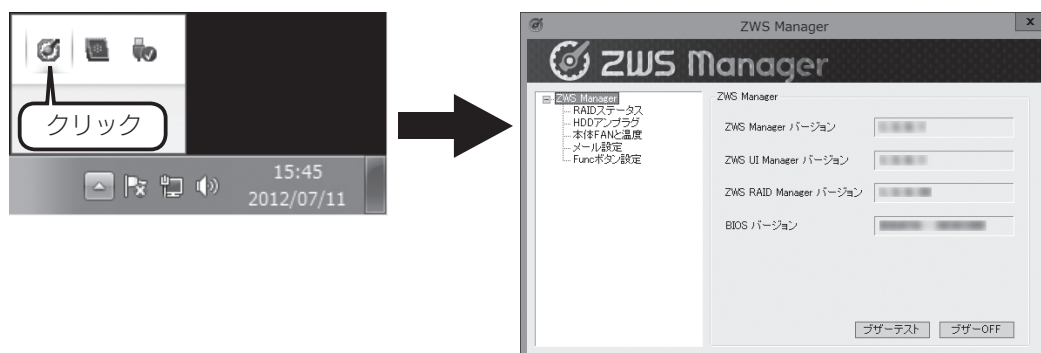
## ご注意

- ZWS Manager は Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

## ZWS Manager メイン画面の表示方法

- 1 タスクトレイのアイコンをクリックします。  
→ ZWS Manager のメイン画面が表示されます。画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。

### ▼メイン画面

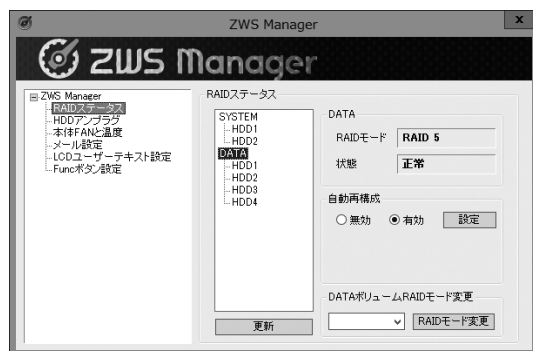


### ▼ ZWS Manager … メイン画面です。各種バージョンを表示します。

|                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| ZWS Manager バージョン      | ZWS Manager のバージョンを表示します。      |
| ZWS UI Manager バージョン   | ZWS UI Manager のバージョンを表示します。   |
| ZWS RAID Manager バージョン | ZWS RAID Manager のバージョンを表示します。 |
| BIOS バージョン             | 製品の BIOS バージョンを表示します。          |

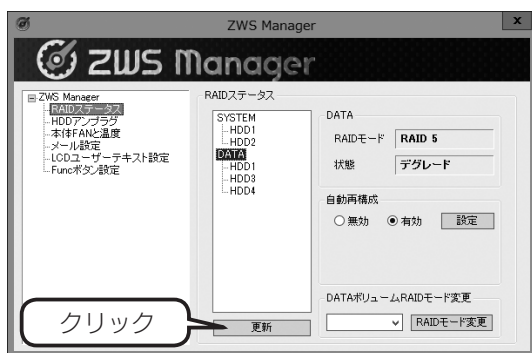
## ZWS Manager 画面一覧

### ▼ RAID ステータス … RAID 設定の実行、RAID 情報が表示されます。



|            |                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SYSTEM     | システムに使用しているハードディスクを表示します。                                                                                                                                                                                                           |
| DATA       | データ領域に使用しているハードディスクを表示します。<br>※マルチディスクの場合、表示されません。                                                                                                                                                                                  |
| RAID モード   | 現在設定されている RAID モードを表示します。                                                                                                                                                                                                           |
| 状態         | 現在の RAID の状態を表示します。                                                                                                                                                                                                                 |
| 自動再構成      | 自動再構成の有効 / 無効を設定します。<br>有効に設定すると、故障ハードディスク（カートリッジ）の交換時に自動的に再構築を行います。<br>無効に設定すると、故障ハードディスク（カートリッジ）の交換をしても自動再構築を行いません。<br>RAID 構成に組み込む HDD にチェックをつけてから、[ 設定 ] ボタンをクリックすると、再構築を行います。<br>結果は RAID ステータス画面で確認します。（結果の反映まで数分必要な場合があります。） |
| RAID モード変更 | データボリュームの RAID モードを変更・表示します。<br>※マルチディスクの場合、変更できません。<br>設定方法は、【マルチディスク】（27 ページ）をご覧ください。                                                                                                                                             |

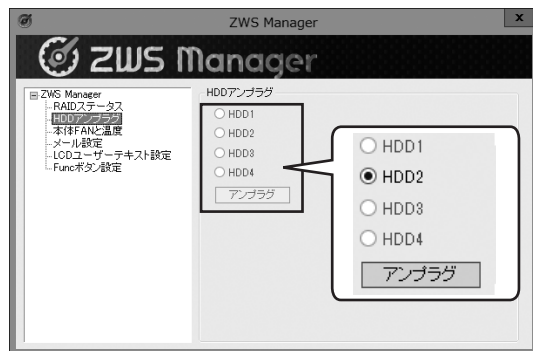
### HDD 交換後に RAID ステータスでハードディスクが認識されない場合



本製品の電源が入っている状態で、ハードディスクを交換後に、「ZWS Manager」の RAID ステータスでハードディスクが認識されず、リビルドが開始できない場合があります。その場合は、「RAID ステータス」画面の [ 更新 ] ボタンをクリックしてください。

※「RAID ステータス」画面の反映まで、数分程度かかります。

### ▼ HDD アンプラグ … 障害が発生したハードディスクを指定し、[ アンプラグ ] 処理を行います。



障害が発生したハードディスク番号以外は、選択できません。

※マルチディスクの場合、ZWS Manager からは取り外しできません。

※吹き出しは、HDD2 に障害が発生した場合の表示例です。

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

## ▼本体 FAN と温度 … FAN の回転数と本体温度を表示します。



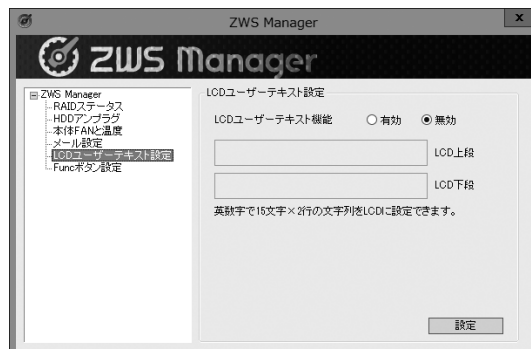
|         |                     |
|---------|---------------------|
| FAN 回転数 | 現在の FAN の回転数を表示します。 |
| 本体温度    | 現在の本体の温度を表示します。     |

## ▼メール設定 … メール送信設定を表示します。



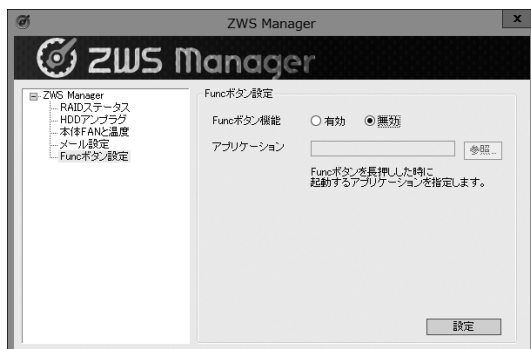
|                |                                                                        |
|----------------|------------------------------------------------------------------------|
| メール機能          | メール機能の有効 / 無効を設定します。                                                   |
| SMTP サーバー      | SMTP サーバーを入力します。                                                       |
| SMTP サーバーポート番号 | SMTP サーバーポート番号を入力します。                                                  |
| メール差出人アドレス     | 差出人として表示するメールアドレスを入力します。                                               |
| 認証方式           | 認証方式を選択します。                                                            |
| 認証 POP サーバー名   | 選択した [ 認証方式 ] に応じた認証 POP サーバー名を入力します。                                  |
| ユーザー名          | 選択した [ 認証方式 ] に応じたユーザー名を入力します。                                         |
| パスワード          | 選択した [ 認証方式 ] に応じたパスワードを入力します。                                         |
| メール送信先アドレス     | 送信先のメールアドレスを入力します。<br>複数のアドレスを設定したい場合はセミコロン<br>";" で区切ってください。(最大512文字) |
| エンコード          | エンコード方式を [ISO-2022-JP] か [UTF-8] から選択します。                              |

## ▼LCD ユーザーテキスト設定 … LCD のテキストの設定を表示します。(4 ドライブモデルのみ)



|                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| LCD ユーザーテキスト機能 | LCD ユーザーテキスト機能の有効 / 無効を設定します。 |
| LCD 上段         | 上段に表示したい文字を入れます。              |
| LCD 下段         | 下段に表示したい文字を入れます。              |

## ▼Func ボタン設定 … Func. ボタンの設定を表示します。



|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| Func ボタン機能 | Func ボタン機能の有効 / 無効を設定します。             |
| アプリケーション   | Func. ボタンを押すことにより、起動するアプリケーションを設定します。 |

# ハードウェア仕様

|           |           |                                                                       |
|-----------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| シリーズ      |           | HDL-Z2WEC シリーズ                                                        |
| CPU       |           | Intel Atom Processor 2.13GHz(Dual Core)                               |
| 搭載 OS     |           | Windows Embedded Standard 7                                           |
| カートリッジ    |           | 2 スロット対応 (SATA 接続)                                                    |
| セキュリティ    |           | ケンジントンスロット                                                            |
| メモリ容量     |           | 4.0G バイト                                                              |
| RAID      |           | RAID 0/1                                                              |
| LAN       | 転送規格      | IEEE 802.3ab、IEEE802.3u、IEEE802.3<br>(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) |
|           | 最大転送速度    | 1000/100/10Mbps                                                       |
|           | コネクタ      | RJ-45 × 2                                                             |
|           | アクセス方法    | CSMA/CD                                                               |
|           | MDI/MDI-X | 自動切換                                                                  |
|           | 適合ケーブル    | UTP カテゴリー 5e 以上、100m 以下                                               |
| eSATA ホスト | 転送規格      | SATA I / SATA II (NCQ 対応)                                             |
|           | 最大転送速度    | 3.0Gbps                                                               |
|           | コネクタ      | eSATA コネクタ × 1                                                        |
| USB ホスト   | 転送規格      | USB 3.0/USB 2.0(1.1 含む)                                               |
|           | 最大転送速度    | 5.0Gbps/480Mbps                                                       |
|           | コネクタ      | USB A コネクタ × 5                                                        |
| 電源仕様      | 定格電圧      | DC12V                                                                 |
|           | 消費電力(電流)  | 5A                                                                    |
| 動作環境      | 使用温湿度     | 0 ~ 40℃ 20 ~ 80% (結露なきこと)                                             |
| 物理仕様      | 外形寸法*     | 約 102(H)×216(W)×150(H)mm                                              |
|           | 質量(本体のみ)  | 約 3.7kg                                                               |

※ 突起部除く

はじめに

初期設定

詳細設定

資料

# アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

## お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/support/>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

**電話：050-3116-3025**

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

**FAX：076-260-3360**

**インターネット：http://www.iodata.jp/support/**

＜ご用意いただく情報＞

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

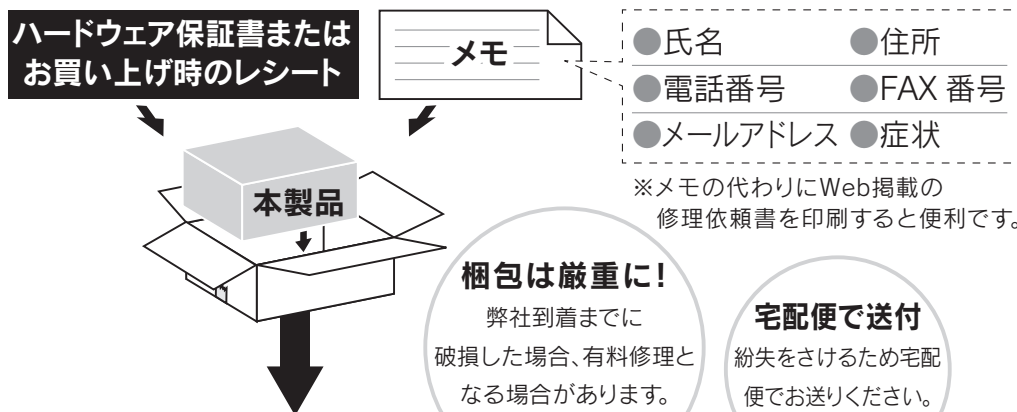
## 個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



## 修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。(見積無料)  
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。  
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



# マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

## WINDOWS EMBEDDED STANDARD 7

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項（以下「本ライセンス条項」といいます）は、お客様と株式会社アイ・オー・データ機器（以下、「アイオーデータ」）との契約を構成します。以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、お客様が本ソフトウェアを受け取った別個のメディアも含まれます。

本デバイス上の本ソフトウェアには、Microsoft Corporation またはその関連会社からライセンスされているソフトウェアが含まれます。また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- ・更新プログラム
- ・追加ソフトウェア
- ・インターネットベースのサービス
- ・サポート サービス

なお、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合には、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

お客様が更新プログラムまたは追加ソフトウェアをマイクロソフトから直接入手された場合は、アイオーデータではなく、マイクロソフトが当該更新プログラムまたは追加ソフトウェアのライセンスを付与します。

以下に説明するように、本ソフトウェアを使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピューター情報を送信することにお客様が同意されたものとします。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。この場合、アイオーデータに問い合わせ、お支払いいただいた金額の払い戻しに関する方針を確認してください。

お客様がこれらのライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

### 1. 使用権

**使用。**本ソフトウェア ライセンスは、お客様が本ソフトウェアと共に取得されたデバイスに永続的に割り当てられます。お客様は、本ソフトウェアを本デバイスで使用することができます。

### 2. 追加のライセンス条件および追加の使用権

**a. 特定用途。**アイオーデータは、本デバイスを特定用途向けに設計しました。お客様は、当該用途に限り本ソフトウェアを使用することができます。

**b. その他のソフトウェア。**お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。

- ・本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。または
- ・システム コーディネーティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。
- ・コンシューマー タスクまたはプロセスや、ビジネス タスクまたはプロセスを提供するソフトウェアを、本デバイス上で実行することはできません。これには、電子メール、ワード プロセッシング、表計算、データベース、スケジュール作成、家計簿ソフトウェアが含まれます。本デバイスは、ターミナル サービス プロトコルを使用して、サーバー上で実行されているかかるソフトウェアにアクセスすることができます。

**c. デバイスの接続。**お客様は、本ソフトウェアをサーバー ソフトウェアとして使用することはできません。つまり、複数のデバイスから同時に、本ソフトウェアにアクセスしたり、本ソフトウェアを表示、実行、共有、または使用したりすることはできません。

お客様は、ターミナル サービス プロトコルを使用して、デバイスを、電子メール、ワード プロセッシング、スケジュール作成、または表計算などのビジネス タスクまたはプロセス ソフトウェアを実行しているサーバーに接続することができます。

お客様は、最大 10 台の他のデバイスから本ソフトウェアにアクセスして、以下のサービスを使用することを許可できます。

- ・ファイル サービス
- ・プリント サービス
- ・インターネット インフォメーション サービス、および
- ・インターネット接続の共有およびテレフォニー サービス

上記の 10 台という接続数制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介して本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は、TCP/IP を介して無制限の受信接続を随時使用することができます。

**d. リモート アクセス テクノロジー。**お客様は、以下の条件に従う場合に限り、リモート アクセス テクノロジーを使用して他のデバイスから本ソフトウェアにリモート アクセスして使用することができます。

**リモート デスクトップ。**本デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、リモート デスクトップ機能またはこれに類似するテクノロジーを使用して、他のデバイスからセッションにアクセスすることができます。「セッション」とは、入力、出力、および表示用の周辺機器を利用して直接または間接に本ソフトウェアを双方向で使用できる状態を意味します。リモート デバイス用の本ソフトウェアを実行するためのライセンスが別途取得されている場合、その他のユーザーもこれらのテクノロジーを使用して、任意の数のデバイスからセッションにアクセスすることができます。

**その他のアクセス テクノロジー。**お客様は、リモート アシスタンスまたはこれに類似するテクノロジーを使用してセッションを共有することができます。

**その他のリモート使用。**お客様は、任意の数のデバイスに、デバイス間でのデータの同期など上記の「デバイスによる接続」および「リモート アクセス テクノロジー」の項に記載されている以外の目的で、本ソフトウェアにアクセスすることを許可することができます。

**e. フォント コンポーネント。**本ソフトウェアの実行中、お客様は本ソフトウェアに付属のフォントを使用してコンテンツを表示および印刷することができます。以下の操作のみが許可されます。

- ・フォントの埋め込みに関する制限の下で許容される範囲でコンテンツにフォントを埋め込む。
- ・コンテンツを印刷するために、フォントをプリンターまたはその他の出力デバイスに一時的にダウンロードする。

**f. アイコン、画像、および音声。**本ソフトウェア作動中、本ソフトウェアのアイコン、イメージ、サウンド、およびメディアを使用することはできますが、これらを共有することはできません。

**3. VHD ブート。**本ソフトウェアの仮想ハード ディスク機能を使用して作成された本ソフトウェアの追加の複製（以下「VHD イメージ」といいます）が、本デバイスの物理ハード ディスクにプレインストールされていることがあります。これらの VHD イメージは、物理ハード ディスクまたは物理ハード ドライブにインストールされている本ソフトウェアを保守または更新するためにのみ使用することができます。VHD イメージがお客様のデバイスの上での唯一のソフトウェアである場合、プライマリのオペレーティング システムとして使用することができますが、VHD イメージの他のすべての複製は保守および更新以外を目的として使用することはできません。

**4. 問題を起こす可能性のある危険なソフトウェア。**本ソフトウェアには、Windows Defender が含まれている場合があります。Windows Defender を有効にした場合、「スパイウェア」や「アドウェア」など、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアが本デバイスに存在しないかが Windows Defender によって検索されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアが見つかった場合、そのソフトウェアを無視するか、無効にするか（隔離）、または削除するかを確認するメッセージが表示されます。既定の設定を変更していない限り、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアのうち「高」または「重大」と評価されるものは、スキャン後に自動的に削除されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアを削除するか、無効にする場合、次の点に注意する必要があります。

- ・デバイスにある他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
- ・本デバイス上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

本ソフトウェアを使用することで、問題を起こす可能性のあるソフトウェアではないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする可能性があります。

**5. ライセンスの適用範囲。**本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。アイオーデータおよびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令により上記の制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することが

できます。この場合、お客様は、使用方法を制限するために本ソフトウェアに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。詳細については、本ソフトウェア付属の文書を参照するか、アイオーデータにお問い合わせください。お客様は、以下を行うことはできません。

- ・本ソフトウェアの技術的な制限を回避して使用すること。
- ・本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること。
- ・本ライセンス条項で規定されている数以上の本ソフトウェアの複製を作成すること。
- ・第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること。
- ・本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること。
- ・本ソフトウェアを商用ソフトウェア ホスティング サービスで使用する。

本ライセンス条項に明示的に規定されている場合を除き、本デバイス上の本ソフトウェアにアクセスする権利は、本デバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスにおいてマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利を、お客様に付与するものではありません。

**6. インターネットベースのサービス。**マイクロソフトは、本ソフトウェアについてインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは、いつでもこのサービスを変更または中止できるものとします。

**a. インターネットベースのサービスに関する同意。**本デバイスには、以下に記載されている 1 つ以上のソフトウェア機能が含まれている場合があります。これらの機能は、インターネットを経由してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続します。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。これらの機能の詳細については、[go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604](https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) をご参照ください。

**これらの機能を使用することで、お客様は、この情報の送信に同意されたものとします。**マイクロソフトは、これらの情報を利用してお客様の特定またはお客様への連絡を行うことはありません。

**コンピューター情報。**以下の機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様の IP アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザーの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースのサービスを提供するためにこの情報を使用します。アイオーデータは、本デバイスで以下の機能を有効にすることを選択しています。

- ・ **プラグ アンド プレイおよびプラグ アンド プレイの拡張。**お客様は、お客様のデバイスに新しいハードウェアを接続することができます。デバイスには、かかるハードウェアと通信するために必要なドライバーがインストールされていない場合があります。この場合、本ソフトウェアの更新機能により、マイクロソフトから適切なドライバーを取得し、お客様のデバイスにインストールすることができます。
- ・ **Web コンテンツ機能。**本ソフトウェアには、関連するコンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。これらの機能の例としては、クリップ アート、テンプレート、オンライン トレーニング、オンライン アシスタンス、および Appshelp が挙げられます。お客様は、これらの機能を解除するか、または使用しないことを選択することができます。
- ・ **デジタル証明書。**本ソフトウェアは x.509 バージョン 3 デジタル証明書を使用します。これらのデジタル証明書によってお互いに情報を送信してユーザーの身元を特定したり、お客様はかかるデジタル証明書を使用して情報を暗号化したりすることができます。本ソフトウェアは、インターネットを経由して証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。
- ・ **Auto Root 更新。**Auto Root 更新機能は、信頼できる証明機関のリストを更新するものです。この機能は無効にすることができます。
- ・ **Windows Media デジタル著作権管理。**コンテンツ権利者は、著作権を含む知的財産を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理技術 (WMDRM) を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM が保護するコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ権利者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要求することがあります。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。お客様は、保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードすることでマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ権利者は、お客様がコンテンツ権利者のコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがあります。WMDRM を含むマイクロソフト ソフトウェアでは、アップグレードに先立ってお客様の同意が求められます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。お客様は、インターネットに接続する WMDRM 機能を解除することができます。この機能が解除されている場合でも、正規のライセンスを取得しているコンテンツを再生することは可能です。
- ・ **Windows Media Player。**お客様が Windows Media Player を使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。
  - ・ お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス
  - ・ Windows Media Player の最新バージョン
  - ・ コーデック (コンテンツの再生に必要なコーデックがデバイスにない場合)

この機能は無効にすることができます。詳細については、[go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=51331](https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=51331) をご参照ください。

- ・ **アップグレード時における悪質なソフトウェアの削除/除去。**本ソフトウェアのインストール前に、[www.support.microsoft.com/?kbid=890830](https://www.support.microsoft.com/?kbid=890830) に掲載されている特定の悪質なソフトウェア (「マルウェア」といいます) がお客様のデバイスにインストールされていないかが自動的に確認され、お客様のデバイスから削除されます。お客様のデバイスでのマルウェアの確認時に、検出されたすべてのマルウェアまたはマルウェア確認中に発生したエラーに関する報告がマイクロソフトに送信されます。この報告には、お客様を識別するための情報は一切含まれません。お客様は、本ソフトウェアのマルウェア報告機能を [www.support.microsoft.com/?kbid=890830](https://www.support.microsoft.com/?kbid=890830) に掲載されている手順に従って無効にすることができます。
- ・ **ネットワーク認識。**ネットワーク トラフィックのパッシブ モニタリングまたはアクティブ DNS (または HTTP) クエリにより、システムがネットワークに接続されているかどうかが判別されます。このクエリでは、ルーティングのための標準的な TCP/IP 情報または DNS 情報の送信のみを行います。お客様は、レジストリ設定により、このアクティブ クエリ機能を解除することができます。
- ・ **Windows タイム サービス。**このサービスは、[www.time.windows.com](https://www.time.windows.com) と週に 1 回同期することで、お客様のデバイスの時刻を正確に設定するものです。接続には標準の NTP プロトコルを使用します。
- ・ **検索候補サービス。**Internet Explorer でクイック検索ボックスを使用するか、またはアドレス バーで検索用語の前に疑問符 (?) を入力して検索クエリを入力すると、入力に応じた検索候補が表示されます (ご使用の検索プロバイダーでサポートされている場合)。クイック検索ボックスに入力したすべての語、またはアドレス バーに入力した疑問符 (?) より後ろにあるすべての語は、入力と同時に検索プロバイダーに送信されます。また、Enter キーを押すか、または [検索] ボタンをクリックすると、クイック検索ボックスまたはアドレス バーにあるすべてのテキストが検索プロバイダーに送信されます。お客様がマイクロソフトの検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は「マイクロソフト オンライン プライバシーに関する声明」に準拠するものとします。この声明は、[go.microsoft.com/fwlink/?linkid=31493](https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=31493) に掲載されています。お客様が第三者の検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は第三者のプライバシー ポリシーに準拠するものとします。お客様はいつでも検索候補の表示をオフにすることができます。これを行うには、Internet Explorer の [ツール] メニューにある [アドオンの管理] を使用します。検索候補サービスの詳細については、[go.microsoft.com/fwlink/?linkid=128106](https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=128106) をご参照ください。
- ・ **赤外線送信/受信機のアップデートの了承。**本ソフトウェアには、一部の Media Center ベースの製品と共に出荷される赤外線送信/受信機の正常動作を保証するためのテクノロジーが含まれている場合があります。お客様は、本ソフトウェアがこのデバイスのファームウェアをアップデートすることに同意されたものとします。
- ・ **Media Center オンライン プロモーション。**お客様が本ソフトウェアの Media Center 機能を使用してインターネットベースのコンテンツまたはその他のインターネットベースのサービスにアクセスした場合、かかるサービスは本ソフトウェアから以下の情報を取得し、お客様が特定の宣伝サービスを受け取り、受け入れ、および使用できるようにします。
  - ・ お客様のインターネット プロトコル アドレス、使用しているオペレーティング システムおよびブラウザーの種類、ならびに使用している本ソフトウェアの名称およびバージョンなどの特定のデバイス情報

- ・ 要求したコンテンツ
- ・ 本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コード
- ・ お客様は、Media Center 機能を使用してかかるサービスに接続することにより、これらの情報の収集および使用に同意されたものとします。
- ・ **メディア再生機能の更新。**本デバイス上の本ソフトウェアには、MSCORP Media Playback Update サーバーから更新プログラムを直接受け取るメディア再生機能が含まれている場合があります。お客様の製造業者がアクティベーションを実行している場合、これらの更新プログラムはお客様に通知することなくダウンロードおよびインストールが行われます。製造業者は、これらの更新プログラムがお客様のデバイス上で確実に動作するようにする責任を負います。
- ・ **Windows Update Agent。**本デバイス上の本ソフトウェアには、Windows Update Agent (以下「WUA」といいます) が含まれています。この機能を使用すると、お客様のデバイスで MSCORP Windows Update サーバーから直接、または必要なサーバー コンポーネントがインストールされているサーバーおよび Microsoft Windows Update サーバーから Windows 更新プログラムにアクセスできます。本ソフトウェアの Windows Update サービス (使用している場合) を適切に機能させるために、Windows Update サービスの更新またはダウンロードが適宜必要になり、お客様に通知することなくダウンロードとインストールが行われます。本ライセンス条項または Windows 更新プログラムに付属するライセンス条項の他の免責事項を制限することなく、お客様は、お客様のデバイスにインストールするかまたはインストールしようとする任意の Windows 更新プログラムに関して、Microsoft Corporation またはその関連会社からいかなる保証も提供されないことを認め、同意するものとします。
- b. **情報の使用。**マイクロソフトでは、ソフトウェアの改善およびサービスの向上を目的として、デバイスの情報、エラー報告、およびマルウェア報告を使用することがあります。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなど、他の企業と情報を共有する場合があります。これらの第三者は、マイクロソフト製ソフトウェアと連携して動作する自社製品の改良のため、この情報を使用することがあります。
- c. **インターネットベースのサービスの不正使用。**お客様は、これらのサービスに損害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるこれらのサービスの使用を妨げる可能性のある方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正アクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。
- 7. **製品サポート。**サポート オプションについては、アイオーデータにお問い合わせください。その際、デバイスと共に提供されるサポート番号をお知らせください。
- 8. **MICROSOFT .NET のベンチマーク テスト。**本ソフトウェアは、.NET Framework のコンポーネント (以下「.NET コンポーネント」といいます) を 1 つ以上含んでいます。お客様は、これらのコンポーネントの内部ベンチマーク テストを実施することができます。お客様は、[go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406) に掲載されている条件に従うことを条件に、これらのコンポーネントのベンチマーク テストの結果を開示できます。マイクロソフトと別途の合意がある場合でも、お客様が当該ベンチマーク テストの結果を開示した場合、マイクロソフトは、[go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406) に掲載されている条件と同じ条件に従うことを条件に、該当する .NET コンポーネントと競合するお客様の製品についてマイクロソフトが実施したベンチマーク テストの結果を開示する権利を有します。
- 9. **バックアップ用の複製。**お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを、デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。
- 10. **ドキュメント。**お客様のデバイスまたは内部ネットワークに有効なアクセス権を有する者は、お客様の内部使用目的に限り、ドキュメントを複製して使用することができます。
- 11. **ライセンス証明書 (「PROOF OF LICENSE」または「POL」)。**お客様が本ソフトウェアをデバイスにインストールされた状態、または CD-ROM またはその他のメディアで入手された場合、本ソフトウェアのライセンスが正当に取得されたものであることは、正規の Certificate of Authenticity ラベルが正規の本ソフトウェアの複製に付属していることにより識別することができます。ラベルが有効であるためには、このラベルがデバイスに貼付、あるいは アイオーデータの本ソフトウェア梱包に貼付または含まれていなければなりません。ラベルが本ソフトウェアの梱包とは別に提供されたものである場合、そのラベルは無効です。お客様が本ソフトウェアのライセンスを取得していることを証明するため、ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、[www.microsoft.com/resources/howto/default.aspx](http://www.microsoft.com/resources/howto/default.aspx) をご参照ください。
- 12. **第三者への譲渡。**本ソフトウェアは、デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本ライセンス条項が付属している場合にのみ直接第三者に譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲渡者は本ライセンス条項が本ソフトウェアの譲渡および使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を保持することはできません。
- 13. **H.264/AVC 規格、VC-1 規格、MPEG-4 規格、および MPEG-2 規格に関する注意。**本ソフトウェアには、H.264/AVC、VC-1、MPEG-4 Part 2、および MPEG-2 画像圧縮テクノロジーが含まれていることがあります。本ソフトウェアにこれらの画像圧縮テクノロジーが含まれている場合、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。  
本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、[AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE]、[VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE]、[MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE]、[MPEG-2 VIDEO PATENT PORTFOLIO LICENSE] のいずれか 1 つ以上に基つて次の用途に限ってライセンスされています。(i) 上記の規格に従ってビデオをエンコードすること (以下「ビデオ規格」といいます)、または (ii) 個人使用および非商業的活動に従事する消費者がエンコードしたビデオをデコードする、もしくは、かかる特許ポートフォリオライセンスに基づいてビデオを提供するライセンスを有するビデオ プロバイダーから取得したビデオをデコードすること。本ライセンスは、本製品と共に単一の製品に含まれているかどうかにかかわらず、他の製品に適用されることはありません。その他の用途については、明示が黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。
- 14. **MP3 オーディオ規格に関する注意。**本ソフトウェアには、ISO/IEC 11172-3 および ISO/IEC 13818-3 に規定されている MP3 オーディオ エンコーディングおよびデコーディング テクノロジーが含まれています。本ソフトウェアは、商業的製品またはサービスにおいて実装または頒布するためにライセンスされるものではありません。
- 15. **非フォールトトレラント。**本ソフトウェアは、フォールトトレラントではありません。アイオーデータは、本ソフトウェアをデバイスにインストールしており、本ソフトウェアのデバイス上での動作に責任を負うものとします。
- 16. **使用制限。**マイクロソフト ソフトウェアは、フェールセーフ性能が不要なシステム用に設計されました。お客様は、本ソフトウェアの誤動作があった場合に人身傷害または死亡の予測できるリスクをもたらすデバイスまたはシステムで、マイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。これには、核施設、航空機のナビゲーションまたは通信システム、航空交通管制の操作が含まれます。
- 17. **本ソフトウェアの無保証。**本ソフトウェアは、現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用に伴うあらゆる危険は、お客様の負担とします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任は一切負いません。デバイスまたは本ソフトウェアに関してお客様が受けている保証は、マイクロソフトまたはその関連会社から与えられるのではなく、マイクロソフトまたはその関連会社がその保証による拘束を受けることはありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、侵害の不存在に関する黙示の保証について、アイオーデータおよびマイクロソフトは一切責任を負いません。
- 18. **責任の制限。**マイクロソフトおよびその関連会社の責任は、250 米ドル (U.S. \$250.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害 (派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません) に関しては、一切責任を負いません。この制限は、以下に適用されるものとします。
  - ・ 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ (コードを含みます)、または第三者のプログラムに関連した事項
  - ・ 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求 (適用される法令により認められている範囲において)
この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および派生的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。
- 19. **輸出規制。**本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法 (輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限を含みます) を遵守しなければなりません。詳細については [www.microsoft.com/japan/exporting](http://www.microsoft.com/japan/exporting) をご参照ください。

**20. 完全合意。**本ライセンス条項、追加条項（本ソフトウェアに付属し、当該条項の一部または全部を置換または変更する印刷されたライセンス条項を含む）、ならびに追加ソフトウェア、更新プログラム、インターネットベースのサービス、およびサポート サービスに関する使用条件は、本ソフトウェアおよびサポート サービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。

## 21. 準拠法

- a. **日本。**お客様が本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本ライセンス条項は日本法に準拠するものとします。
- b. **米国。**お客様が本ソフトウェアを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および違法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。
- c. **日本および米国以外。**お客様が本ソフトウェアを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。

**22. 第三者のプログラム。**マイクロソフトは、本ソフトウェアに含まれる第三者のソフトウェアの著作権表示を以下に示します。これらの表示は、それぞれの著作権保有者によって義務付けられており、本ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスを変更するものではありません。

本ソフトウェアの特定の部分は、Spider Systems ® Limited の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Spider Systems Limited のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1987 Spider Systems Limited  
Copyright 1988 Spider Systems Limited  
Copyright 1990 Spider Systems Limited

本ソフトウェアの特定の部分は、Seagate Software の著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ACE\*COMM Corp. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ACE\*COMM Corp. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1995-1997 ACE\*COMM Corp

本ソフトウェアの特定の部分は、Sam Leffler 氏および Silicon Graphics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sam Leffler 氏および Silicon Graphics のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler  
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。  
ただし、(i) 本ソフトウェアおよび関連ドキュメントのあらゆる複製に上記の著作権表示とこの許可表示を記載すること、および (ii) Sam Leffler 氏および Silicon Graphics の書面による個別かつ事前の許可なく、Sam Leffler 氏および Silicon Graphics の名称を本ソフトウェアに関連する任意の広告または宣伝で使用できないこと、を条件とします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性または特定目的に対する適合性の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。

SAM LEFFLER または SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、あらゆる特別損害、付随的損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、損害の可能性について知らされていたかどうかにかかわらず、いかなる責任の法理においても、一切責任を負いません。

Portions Copyright © 1998 PictureTel Corporation

本ソフトウェアの特定の部分は、Highground Systems の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Highground Systems のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996-1999 Highground Systems

Windows 7 には、Info-ZIP グループの圧縮コードが組み込まれています。このコードの使用によって追加の料金または費用がかかることはなく、元の圧縮ソース コードは、インターネットで [www.info-zip.org/](http://www.info-zip.org/) または [ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src/](http://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src/) から無償で入手できます。

Portions Copyright © 2000 SRS Labs, Inc

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ScanSoft, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ScanSoft, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

TextBridge® OCR © by ScanSoft, Inc.

本ソフトウェアの特定の部分は、南カリフォルニア大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に南カリフォルニア大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996 by the University of Southern California  
All rights reserved.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、ソースおよびバイナリ形式で使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示とこの許可表示の両方を記載すること、およびかかる頒布と使用に関連する任意のドキュメント、広告物、その他の資料において、本ソフトウェアが南カリフォルニア大学情報科学研究所によって一部開発されたことに同意すること、を条件とします。南カリフォルニア大学の名称は、書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。

南カリフォルニア大学は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。

その他の著作権が本ソフトウェアの一部に適用されることがあり、該当する場合はそのように記載されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、James Kanze 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に James Kanze 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示  
All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連ドキュメント ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、本ソフトウェアを使用、複製、公開、頒布、および本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびに本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されない本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載することを条件とします。また、改変したソフトウェアでは、接頭辞「GB」を他の接頭辞に変更し、インクルード ファイルのディレクトリ名（この頒布では「gb」）も変更するという条件の下で、本ソフトウェアのいかなる改変も行うことを許可するものとします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権所有者は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権所有者の書面による事前の承認なく、著作権所有者の名称を、本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

本製品には、Cisco ISAKMP Services のソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、RSA Data Security, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に RSA Data Security, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

本ソフトウェアまたはこの機能を記載または参照するすべての資料に、当該ソフトウェアまたは機能が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム」であると明記することを条件に、本ソフトウェアを複製および使用するライセンスを付与するものとします。派生品についても、当該派生品を記載または参照するすべての資料に、当該派生品が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズムから派生した」ことを明記することを条件に、作成および使用するライセンスを付与するものとします。

RSA Data Security, Inc. は、本ソフトウェアの商品性または本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

これらの表示は、このドキュメントおよび本ソフトウェアのいかなる部分の複製においても保持されなくてはなりません。

本ソフトウェアの特定の部分は、OpenVision Technologies, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に OpenVision Technologies, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1993 by OpenVision Technologies, Inc.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することをお断りします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において OpenVision の名称を使用しないこと、を条件とします。OpenVision は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

OPENVISION は、商品性および適合性についてのあらゆる黙示の保証を含め、本ソフトウェアに関する保証を一切行いません。また、OPENVISION は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

本ソフトウェアの特定の部分は、Regents of The University of Michigan の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Regents of The University of Michigan のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1995, 1996 Regents of The University of Michigan.  
All Rights Reserved.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することをお断りします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝においてミシガン大学の名称を使用しないこと、を条件とします。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

Copyright © 1993, 1994 Regents of the University of Michigan.  
All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再頒布および使用は、この表示を保持すること、およびミシガン大学アナーバー校に対してしかるべき功績を認めることを条件に許可されます。ミシガン大学アナーバー校の名称は、書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、マサチューセッツ工科大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品にマサチューセッツ工科大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1989, 1990 by the Massachusetts Institute of Technology. All Rights Reserved.

本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアは、米国法に基づいて、米国商務省からのライセンスなく、米国外に輸出することはできません。

Copyright 1994 by the Massachusetts Institute of Technology. All Rights Reserved.

本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、カリフォルニア大学バークレー校および同校の協力者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Northern Telecom からライセンスを取得した「Entrust」のセキュリティ テクノロジによる著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Hewlett-Packard Company の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Hewlett-Packard Company のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1994 Hewlett-Packard Company

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、およびかかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、を条件とします。Hewlett-Packard Company および Microsoft Corporation は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、'libpng' PNG リファレンス ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Autodesk, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Autodesk, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

© Copyright 1995 by Autodesk, Inc.

本ソフトウェアには、画像フィルタ ソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。

本製品には、KS Waves Ltd. の「True Verb」テクノロジーが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、SGS-Thomson Microelectronics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に SGS-Thomson Microelectronics, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1996 SGS-Thomson Microelectronics, Inc. All Rights Reserved

本ソフトウェアの特定の部分は、Unicode, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Unicode, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示

Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. [www.unicode.org/copyright.html](http://www.unicode.org/copyright.html) に掲載されている使用条件に基づいて頒布されます。

Unicode データ ファイルおよび任意の関連ドキュメント（以下「データ ファイル」といいます）または Unicode ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメント（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、データ ファイルまたは本ソフトウェアを使用、複製、改変、結合、公開、頒布、およびデータ ファイルまたは本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびにデータ ファイルまたは本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されないデータ ファイルまたは本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、(a) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方をデータ ファイルまたは本ソフトウェアのすべての複製に記載すること、(b) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を関連ドキュメントに記載すること、(c) 改変された各データ ファイルまたはソフトウェア、およびデータまたはソフトウェアが改変されたデータ ファイルまたは本ソフトウェアに関連するドキュメントにその旨の表示を明記すること、を条件とします。

データ ファイルおよび本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権保有者は、データ ファイルまたは本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、も

しくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、データ ファイルまたは本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

Combined PostScript Driver は、Adobe Systems Incorporated および Microsoft Corporation の共同開発プロセスの成果です。

本ソフトウェアの特定の部分は、Media Cybernetics の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Media Cybernetics のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

HALO Image File Format Library © 1991-1992 Media Cybernetics, Inc.

本ソフトウェアの特定の部分は、Luigi Rizzo 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Luigi Rizzo 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

© 1997-98 Luigi Rizzo (luigi@iet.unipi.it)

特定の部分は、Phil Karn 氏 (karn@ka9q.ampr.org)、Robert Morelos-Zaragoza 氏 (robert@spectra.eng.hawaii.edu)、および Hari Thirumoorthy 氏 (harit@spectra.eng.hawaii.edu) によって 1995 年 8 月に作成されたコードから派生したものです。

ソースおよびバイナリ形式で再頒布および使用することは、改変の有無にかかわらず、以下の条件を満たしている場合に許可されるものとします。

1. ソース コードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を保持しなければなりません。
2. バイナリ形式で再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を、頒布と共に提供されるドキュメントおよびその他の資料において複製しなければなりません。

本ソフトウェアは、著作者によって現状有姿のまま提供され、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない保証については一切拒否されます。著作者は、あらゆる直接損害、間接損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、または派生的損害（代替物またはサービスの調達、使用不能、データの損失または利益の逸失、もしくは事業の中断を含みますがこれらに限定されません）に関しては、原因および責任の法理にかかわらず、本ソフトウェアの使用に何らかの形で起因する契約、厳格責任、または不法行為（過失その他を含みます）の有無を問わず、かかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切責任を負わないものとします。

本ソフトウェアの特定の部分は、W3C の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に W3C のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

W3C © ソフトウェアに関する表示およびライセンス  
www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-software-20021231

この著作物（含まれているソフトウェア、README などのドキュメント、またはその他の関連物）は、以下のライセンスに基づいて、著作権保有者によって提供されています。お客様（ライセンシー）は、この著作物を取得、使用、および複製することにより、以下の条件を読んで理解しており、当該条項を遵守することに同意されるものとします。

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、改変の有無にかかわらず、その目的を問わず、複製、改変、および頒布することをお無償で許可するものとします。ただし、改変物を含む、本ソフトウェアおよびドキュメント、またはその部分のあらゆる複製に以下の条項を記載することを条件とします。

1. 再頒布物または派生品のユーザーから見える場所に、この表示の全文を記載するものとします。
2. 知的財産権に関する既存の免責事項、表示、または条件がある場合はそれを記載するものとします。存在しない場合は、再頒布コードまたは派生コードの本文内に、W3C ソフトウェアに関する概略表示を記載しなければなりません（ハイパーテキスト形式が推奨されますが、テキスト形式も許容されます）。
3. 日付の変更を含む、ファイルの変更または改変に関する表示を記載するものとします（派生元のコードの場所を示す URL を提示することを推奨します）。

本ソフトウェアおよびドキュメントは現状有姿のまま提供されるものであり、著作権保有者は、明示、黙示を問わず、商品性または特定目的に対する適合性についての保証、あるいは本ソフトウェアまたはドキュメントの使用により第三者の特許、著作権、商標、またはその他の権利を侵害しないことを含みますがこれらに限定されない一切の表明または保証を行いません。

著作権保有者は、本ソフトウェアまたはドキュメントの使用に起因する、あらゆる直接損害、間接損害、特別損害、または派生的損害について、一切責任を負わないものとします。

書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアに関する広告または宣伝において著作権保有者の名称および商標を使用することはできません。本ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメントにおける著作権に対する権原は、常に著作権保有者に留まります。

本ソフトウェアの特定の部分は、Sun Microsystems, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sun Microsystems, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. の製品であり、この文言がすべてのテープ メディア、およびソフトウェア プログラムの全体または部分の一部として記載されることを条件に、使用に関する制限なく提供されます。ユーザーは、無償で Sun RPC を複製または改変することができますが、ユーザーが開発した製品またはプログラムの一部とする場合を除いて、他者に使用許諾または頒布する権限を有しません。

SUN RPC は、現状有姿のまま、設計、商品性、および特定目的に対する適合性の保証、あるいは取引の過程、使用、または商慣行に起因する保証を含む、何らの保証もない条件で提供されます。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. によるサポート、および使用、修正、改変、または機能強化に関する支援の義務がない条件で提供されます。

SUN MICROSYSTEMS, INC. は、SUN RPC またはその一部による、著作権、企業秘密、または特許の侵害に関して一切責任を負わないもの

とします。

Sun Microsystems, Inc. は、Sun がかかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、逸失収益または逸失利益、あるいはその他の特別損害、間接損害、および派生的損害について一切責任を負いません。

Sun Microsystems, Inc.  
2550 Garcia Avenue  
Mountain View, California 94043

Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。「Dolby」およびダブル D 記号は Dolby Laboratories の商標です。Confidential unpublished works. Copyright 1992-1997 Dolby Laboratories. All rights reserved.

本ソフトウェアの特定の部分は、Andrei Alexandrescu 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Andrei Alexandrescu 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

The Loki Library

Copyright © 2001 by Andrei Alexandrescu

このコードは以下の書籍に付属しています。

Alexandrescu, Andrei 著『Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied』Copyright © 2001. Addison-Wesley. 本ソフトウェアを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することをおおむね許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、およびかかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、を条件とします。

著作者および Addison-Wesley Longman は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

Portions Copyright © 1995 by Jeffrey Richter

本ソフトウェアの特定の部分は、Distributed Management Task Force, Inc. (DMTF) の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に DMTF 仕様に基づくソフトウェアを含めているため、以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 2007 Distributed Management Task Force, Inc. (DMTF). All rights reserved.

本著作物の特定の部分は、Prentice-Hall から出版されている『The Draft Standard C++ Library』(Copyright © 1995 by P.J. Plauger) から派生しており、許可を得て使用しています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Hewlett-Packard Company の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Hewlett-Packard Company のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 2002, 2003 Hewlett-Packard Company.

本ソフトウェアに関する表示：

本ソフトウェアは、[mpvtools.sourceforge.net](http://mpvtools.sourceforge.net) から入手可能なソフトウェアに基づいています。

本ソフトウェアは、MPV と呼ばれる形式を処理します。MPV は、写真、ビデオ、および音楽コンテンツの収集およびマルチメディア プレイリスト、ならびに関連するメタデータを管理するためのオープン仕様であり、Optical Storage Technology Association から無償で入手できます。MPV 仕様の詳細については、[www.osta.org/mpv](http://www.osta.org/mpv) をご参照ください。

許可表示：

本ソフトウェアおよび関連ドキュメント ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、本ソフトウェアを使用、複製、改変、結合、公開、頒布、再許諾、および本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびに本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されない本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、以下の条件を前提とします。

上記の著作権表示、この許可表示、および上記の本ソフトウェアに関する表示を、本ソフトウェアのあらゆる複製または相当部分に記載するものとします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。著作者または著作権保有者は、本ソフトウェア、あるいは本ソフトウェアの使用またはその他の取り扱いに起因または関連する、

あらゆる賠償請求、損害、またはその他の責任に関し、契約行為またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

その他すべての商標は、各所有者の所有物です。

## 【ハードウェア保証規定】

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

### 1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等に示した正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

### 2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

### 3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

### 4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

### 5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

### 6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

## 【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク (NAS) 「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<http://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>



## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

|      |                        |
|------|------------------------|
| 型番   | HDL-ZWECシリーズ           |
| 保証期間 | ご購入日より <b>3</b> 年間有効です |

|                  |                        |   |
|------------------|------------------------|---|
| ☆<br>お<br>客<br>様 | ふりがな                   |   |
|                  | お名前                    | 様 |
|                  | TEL. (       )       - |   |
|                  | 〒□□□-□□□□<br>ご住所       |   |

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。  
記入漏れがあると、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。  
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店  
にお申し出ください。  
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

|             |                        |   |
|-------------|------------------------|---|
| 販<br>売<br>店 | ご購入日                   |   |
|             | 住所・店名                  |   |
|             | TEL. (       )       - | 印 |

ご購入店様へ

- お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
- 記載漏れがあると、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

**I-O DATA**



株式会社 アイ・オー・データ機器

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**  
ホームページ <http://www.iodata.jp/>